

# メール編

メール機能 .....	134
iモードメールの作成 / 送信 .....	152
iモードメールの受信 / 返信 / 転送 .....	177
SMSの作成 / 送信 .....	193
SMSの受信 / 返信 / 転送 .....	196
メールの応用機能 .....	201
メール設定 .....	218
メール通信設定 .....	232
オプション設定 .....	235

この取扱説明書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。

# FOMA端末のメール機能について

FOMA端末はiモードメールとSMSを送受信できるメール機能を持っています。iモードメールをご利用いただくには「iモード」のご契約が必要です。iモードメールの送信、受信方法についてはP.152、P.177を参照してください。

iモードを契約しなくても、FOMA端末との間でSMSの送受信(文字メッセージのやりとり)ができます。SMSの送信、受信方法についてはP.193、P.196を参照してください。海外とのSMSの送受信はできません。

## iモードメールについて

iモードを契約するだけで、iモード端末(mova含む)間はもちろん、インターネットを経由してe-mail(電子メール)とのメールのやりとりができます。

iモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にiモードをご契約の場合

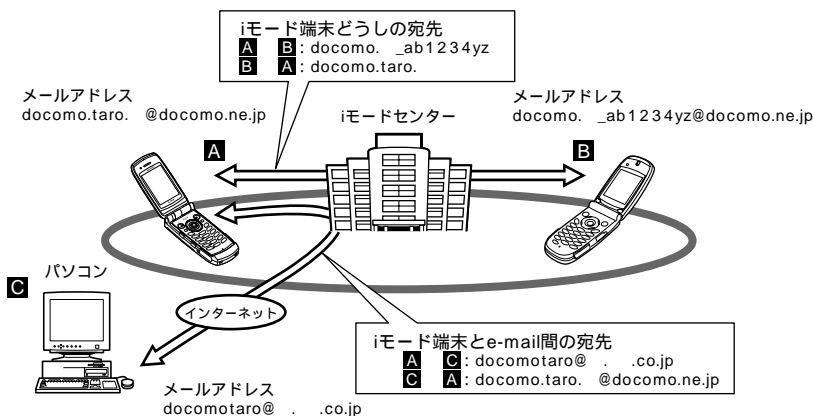
「@」より前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、iモード契約後にご自分のメールアドレスをご確認ください。

(例) abc1234~789xyz@docomo.ne.jp

<お客様のメールアドレスの確認方法> 詳しくは P.236

☰ Menu画面      ⓐ オプション設定      ⓑ メール設定      「アドレス確認」

- ・ iモード端末(mova含む)間でメールをやりとりするときは、「@」より前の部分のみで送信可能です。
- ・ パソコンなどのe-mailからiモード端末へメールを送信するときは、「@docomo.ne.jp」も含めた全部をメールアドレスとして指定します。



- ・ iモードメールの送信方法は P.152
- ・ iモードメールの受信方法は P.177

メールを選択して受信します

iモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にiモードセンターでメールを削除できます。 P.186

メールアドレスを変更します

たとえば「docomo.taro\_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。 P.236

シークレットコードを登録します

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けることができます。 P.239

メールアドレスを電話番号にします(アドレスリセット)

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。 P.238

アドレスを確認します

現在設定されているメールアドレスを確認できます。 P.236

メール受信 / 拒否設定

次のいずれかの方法でメールの受信 / 拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。

ドメイン指定受信

- ・ au、ボーダフォン、TU-KA、DDIポケットのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。また上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。 P.241

NTTドコモのiモード、iショット、一定額到達通知サービス、eビリング請求額お知らせメール、M-stageビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

アドレス指定受信 / 拒否

- ・ 受信するすべてのメールのうち指定するアドレスからのメールを受信 / 拒否します。 P.241

iモードメールのみ受信 / 拒否

- ・ iモードどうしのメールのみ受信(インターネット経由のメールを拒否) / 拒否します。 P.241

iモードメール大量送信者からのメール受信制限

- ・ 1日に1台のiモード端末(mova含む)から送信される200通目以降のiモードメールを拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。 P.243

未承諾広告 メール拒否

- ・ 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前列に「未承諾広告」と記載されているメールを受信 / 拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告 メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。(送信者はメール件名欄の最前列に未承諾広告(全角6文字)と記載することが法律で義務づけられています。) P.243

：「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「iモードメールのみ受信」、「iモードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。

メール設定状況確認

現在設定されているメール受信 / 拒否などの設定状況を確認できます。 P.243

メールのサイズを制限します

あらかじめ指定したサイズによって、受信するiモードメールを制限できます。 P.240

メール機能を停止することができます

メール機能を利用しない場合は、iモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。

P.244

迷惑メールを防ぐために

メールアドレス変更(P.236)や、アドレス指定受信 / 拒否(P.241)などの利用は、迷惑メールを防ぐのに効果的です。

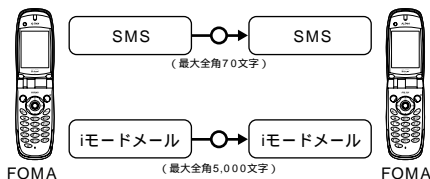
## SMSの宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

### 3種類のメール機能の送受信について

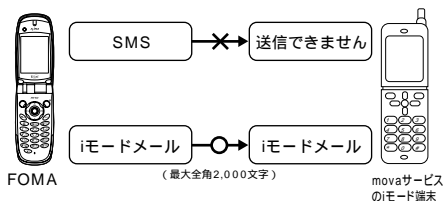
#### FOMA端末 FOMA端末へ

SMSは、相手がFOMA端末の場合のみ送受信できます。



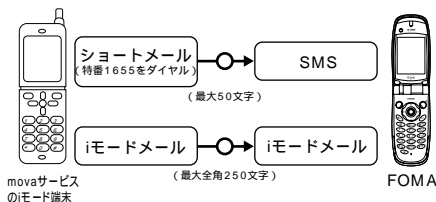
#### FOMA端末 movaサービスのiモード端末へ

FOMA端末からmovaサービスのiモード端末へのメッセージ送信時は、iモードメールを利用します。



#### movaサービスのiモード端末 FOMA端末へ

movaサービスのiモード端末から送信したショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信できます。



：ショートメールとは、ドコモの携帯電話どうしで文字メッセージをやりとりできるサービスです。

- ・FOMA端末からショートメールを送信することはできません。特番1655をダイヤルして送信することもできません。
- ・FOMA端末では、movaサービスのiモード端末などから送られてきたショートメールをSMSとして受信します。

### 送受信できる文字数

iモードメール、SMSで送受信できる文字数は、それぞれ次のとおりです。

#### iモードメール

項目	全角文字(漢字、ひらがな、絵文字など)	半角文字(英字、数字、カタカナなど)
題名	15文字	30文字
宛先	-	50文字
本文	5,000文字	10,000文字

：メロディ、画像、iモードなどのファイルを添付した場合は、送受信可能な本文文字数は少なくなります。また、デコメールで送信できる文字数は、規定の半分以下の文字数になります。

## SMS

項目	全角文字(漢字、ひらがな、絵文字など)	半角文字(英字、数字、カタカナなど)
宛先	-	20文字(数字のみ)
本文	70文字	160文字

：半角の英数字や記号。「[ E ]」、`・`、`°`、`^`、`´`を除く)のみの場合(その他の文字が混在する場合)は70文字まで。

### お知らせ

#### <iモードメール>

iモードメールの本文は全角で5,000文字(10,000バイト)まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。

iモードメールの本文が受信可能な文字数を越えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、越えた部分が自動的に削除されます。

movasサービスのiモード端末へiモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角で2,000文字までです。また、添付できるファイルはJPEG形式の画像1ファイル(最大10,000バイト)のみで、それ以外の添付ファイルを送信した場合、添付ファイルは削除されます。画像を添付した場合、受信側ではiショットメールとして受信され、本文の文字数は全角文字で最大184文字まで届きます。ただし、受信側がメールの分割設定をしている場合は、iショットのURL(画像の保管先)を含み最大全角2,000文字まで届きます。

iモードメールの題名が受信可能な文字数を越えた場合、越えた文字は削除されます。

iモード端末(mova含む)どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。

#### <SMS>

SMSの本文に半角カタカナを使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。

## メールを受信できないとき

iモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のiモード端末に送信されます。ただしお客様のiモード端末が電源が入っていない、iモード圏外などで受信できないとき、または「メール選択受信設定(P.224)」を「ON」に設定しているときは、メールはiモードセンターに保管されます。



iモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大3回まで再送します。その他設定により、iモードセンターでiモードメールを選んで受信することができます。

## &lt;iモードメール&gt;

iモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
iモードメール	207～1,000件 (約2Mバイトまで)	720時間

保管期間が超過したメールは自動的に削除されます。

最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超過した場合は、iモードセンターではメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときiモード端末には「」が表示されます。なお、「メール選択受信設定 (P.224) が「ON」に設定されているときは、保管件数を超過しても「」は表示されません。

iモードセンターに保管されているメールは、「iモード問い合わせ (P.180) やメール選択受信 (P.186) により受信できます。また新しいメールが届いたときは、保管されているほかのメール、メッセージリクエスト/フリーも合わせて受信できます。

iモード端末でメールを受信するとiモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはiモード端末に保存されます。

極端に容量の大きいメールはiモードセンターで受け付けないことがあります。

「メール機能停止 (P.244) を行っている場合は、iモードセンターで新しいメールの保管を行いません。

## &lt;SMS&gt;

SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。送信したSMSの保管期間は「SMS有効期間設定 (P.229) で設定できます。

保管期間が過ぎたSMSは自動的に削除されます。

SMSセンターに保管されているSMSは、「SMS問い合わせ (P.197) により受信できます。

FOMA端末がSMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。

FOMA端末が受信したSMSは、FOMAカードに移動/コピーできます。 P.215

## こんなこともできます

ファイル添付メール

## ・ メロディ添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディを、iモードメールに添付して送受信できます。(メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディは送信できません。)

- ・ iモードメールにメロディを添付して送信するには P.162
- ・ メロディが添付されたiモードメールを受信したときは P.188

## ・ 画像添付メール

内蔵カメラで撮影した静止画や、サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像をiモードメールに添付して送受信できます(メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されている画像は送信できません)。FOMA端末では、GIF形式とJPEG形式の画像を添付・表示できます。

- ・ iモードメールに画像を添付して送信するには P.162
- ・ 画像が添付されたiモードメールを受信したときは P.187

## iショット送受信

内蔵カメラで撮影した静止画を添付ファイルとしてiモード端末(mova含む)およびパソコンや他社携帯電話へ送受信できます。ただし、iモード対応mova端末へは添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付けられて送信され、そのURLを利用してWeb To機能を実行することで画像を取得できます。mova端末へ送れるメール本文は最大全角184文字(369バイト)で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。



- ・ iモードメールに画像を添付して送信するには P.162
- ・ 画像が添付されたiモードメールを受信したときは P.187

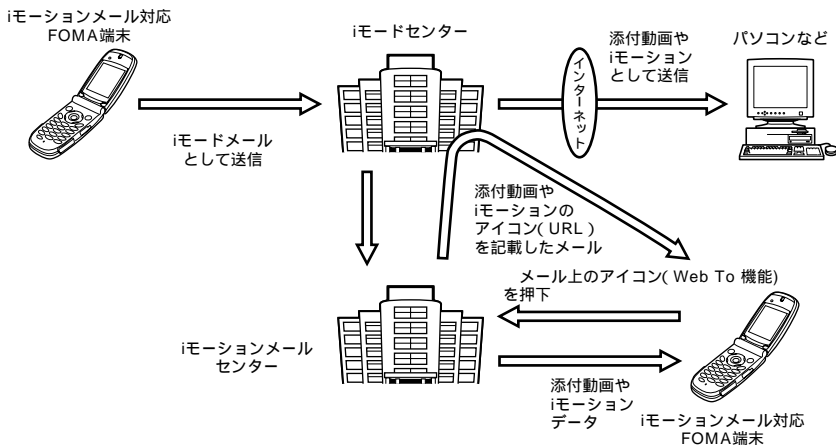
## iモードメール

iモード端末 (mova含む) を利用して撮影した動画、サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーションをiモードメールとして送受信できます(メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画やiモーションは送信できません)。

- ・iモードメールを送信するには P.162
- ・iモードメールを受信したときは P.190

## サービスのしくみ

iモードメールに添付された動画やiモーションファイルはiモードメールセンターに送信され、そこで保存されます。(送信先がパソコン等の場合は、直接添付ファイルとして送信されます。) iモードメール対応端末の受信時は、メール内に「動画あり」と表記され、受信者はメール内に表示されているアイコンを選び、「選択」を押して動画やiモーションを取り込むことができます。iモードメールをパソコンなどに送信すると添付ファイルとして届きます。



## デコメール

iモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります(パソコンからメールを受信する場合、iモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります)。

- ・デコメールを作成/送信する P.171
- ・対応機種：900iシリーズ

## メール同報送信

同じiモードメールを一度に5件までの宛先に送信できます。 P.157

## CC、BCC送受信

パソコンと同じように、iモードメール編集時に宛先をTO、CC、BCCから選択できます。 P.157

ただし、TOが1件もない場合は、メールを送信できません。

## &lt;メロディ添付メール/画像添付メール&gt;

FOMA端末外への出力が禁止されているメロディや画像は添付できません。

内蔵カメラで撮影した写真の場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても送信できますが、受け取った相手はそのファイルを外部へ出力することはできません。

movaサービスのiモード端末へiモードメールを送信した場合、画像以外の添付ファイルは削除されます。添付できる画像はJPEG形式で1ファイルのみ送信できます(最大10,000バイト)

## &lt;iモードメール&gt;

メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画やiモードメールは送信できません。

内蔵カメラで撮影した動画の場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても送信できますが、受け取った相手はそのファイルを外部へ出力することはできません。

iモードメールセンターでの最大保管件数、最大保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
iモードメール	15件	7日間

最大保管期間を過ぎたiモードメールは自動的に削除されます。

最大保管件数を超えた場合は、iモードメールセンターでは新しいiモードメールを受信せず、送信元にエラーメッセージとともにエラーメールを返信します。

FOMA端末でiモードメールを取り込むと、iモードメールセンターに保管されていたiモードメールは削除されます。

## &lt;メール同報送信&gt;

メール同報送信の通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。ただし、追加した宛先情報のデータ量のみ通信料が増えます。



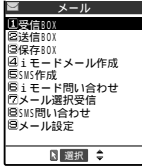
# メール機能一覧

メール機能の画面および機能メニューから操作できる機能の一覧を示します。

< 待受画面 >



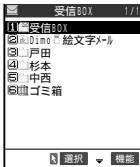
< メールメニュー >



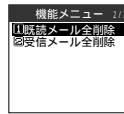
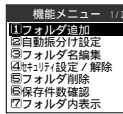
メールメニュー

- ①受信BOX.....受信フォルダ一覧画面を表示します。受信BOXはフォルダごとにメールを分けて管理できます。メール運動型iアプリのメールは専用のフォルダに振り分けられます。フォルダを開くと、受信したiモードメールやSMSの履歴、内容を確認できます。 P.207
- ②送信BOX.....送信フォルダ一覧画面を表示します。メール運動型iアプリのメールは専用のフォルダに振り分けられます。フォルダを開くと、送信したiモードメールやSMSの履歴、内容を確認できます。一時保存したiモードメールやSMSの内容を確認できます。
- ④iモードメール作成.....iモードメールを作成する画面を表示します。
- ⑤SMS作成.....SMSを作成する画面を表示します。
- ⑥iモード問い合わせ.....iモード問い合わせを行って、iモードセンターに保管されているiモードメールを受信できます。 P.186
- ⑦メール選択受信.....iモードセンターに保管されているiモードメールの題名などを確認し、受信するiモードメールを選択したり、受信前にiモードセンターでiモードメールを削除できます。 P.192
- ⑧SMS問い合わせ.....SMS問い合わせを行って、SMSセンターに保管されているSMSを受信できます。 P.203
- ⑨メール設定.....メール設定画面を表示します。iモードメールやSMSの設定を行います。 P.224

< 受信フォルダ一覧画面 >



[機能]



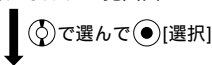
機能メニュー 1/2

- ①フォルダ追加.....新しいフォルダを追加します。 P.207
- ②自動振り分け設定.....受信BOXのフォルダにメールアドレスや電話番号、電話帳のグループを設定し、受信したiモードメールやSMSをフォルダに自動的に振り分けます。 P.209
- ③フォルダ名編集.....追加したフォルダの名前を編集します。 P.209
- ④セキュリティ設定/解除...フォルダのセキュリティを設定/解除します。 P.225
- ⑤フォルダ削除.....追加したフォルダを削除します。 P.209
- ⑥保存件数確認.....すべてのフォルダ内のメールの件数および未読件数、保護件数を表示します。 P.151
- ⑦フォルダ内表示.....フォルダ内のメール一覧画面を表示します。

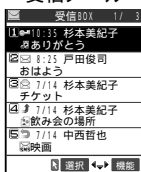
機能メニュー 2/2

- ①既読メール全削除.....すでに読んだメールをすべて削除します。 P.220
- ②受信メール全削除.....メールをすべて削除します。 P.220

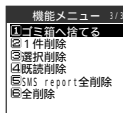
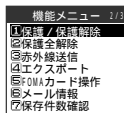
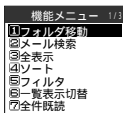
<受信フォルダー一覧画面>



<受信メール一覧画面>



[機能]



機能メニュー 1/3

- ①フォルダ移動.....メールを別のフォルダへ移動します。 P.207
- ②メール検索.....送信元あるいは題名を指定してメールを検索します。 P.216
- ③全表示.....検索、ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示(すべてを新しい順に表示)に戻します。
- ④ソート.....指定した条件に従ってメールを並べ替えます。 P.214
- ⑤フィルタ.....指定した条件に従って読みたいメールだけを表示します。 P.215
- ⑥一覧表示切替.....題名、名前、アドレスに切り替えて表示します。 P.150
- ⑦全件既読.....フォルダ内の未読メールをすべて既読メールにします。

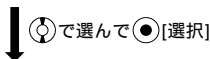
機能メニュー 2/3

- ①保護/保護解除.....メールを保護/保護解除します。 P.217
- ②保護全解除.....保護されているメールの保護をすべて解除します。
- ③赤外線送信.....メールを赤外線送信します。 P.356
- ④エクスポート.....メールをminiSDメモリーカードへエクスポートします。 P.382
- ⑤FOMAカード操作.....FOMA端末(本体)内のSMSをFOMAカードに移動/コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末(本体)に移動/コピーします。 P.221
- ⑥メール情報.....メールを開かずに、送信元などの情報を表示します。
- ⑦保存件数確認.....フォルダ内のメールの件数および未読件数、保護件数を表示します。 P.151

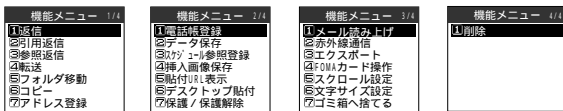
機能メニュー 3/3

- ①ゴミ箱へ捨てる.....メールを選んでゴミ箱に捨てます。
- ②1件削除.....メールを1件削除します。 P.218
- ③選択削除.....メールを選んで削除します。 P.219
- ④既読削除.....フォルダ内のすでに読んだメールをすべて削除します。 P.220
- ⑤SMS report全削除.....フォルダ内のSMS report(送達通知)をすべて削除します。 P.220
- ⑥全削除.....フォルダ内のメールをすべて削除します。 P.220

<受信メール一覧画面>



<受信メール詳細画面>



機能メニュー 1/4

- ①返信.....受信したメールに返信します。 P.186、P.202
- ②引用返信.....元のメールの本文を引用して返信します。 P.187
- ③参照返信.....受信したメールの本文を参照しながら返信メールを作成します。 P.187
- ④転送.....受信したメールを転送します。 P.188、P.202
- ⑤フォルダ移動.....メールを別のフォルダへ移動します。 P.204
- ⑥コピー.....メールの本文、題名、メールアドレスをコピーします。 P.155
- ⑦アドレス登録.....送信元や同報者のメールアドレスや電話番号を電話帳へ登録します。 P.194

機能メニュー 2/4

- ①電話帳登録.....メールの本文中に表示されているメールアドレスや電話番号を電話帳に登録します。 P.116
- ②データ保存.....メールに添付または貼り付けられているメロディ、画像、iモーションを保存します。 P.190
- ③スケジュール参照登録.....メールの本文を参照しながらスケジュールに登録します。『基本編』のP.343
- ④挿入画像保存.....デコメールの本文に挿入されている画像を保存します。 P.191
- ⑤貼付URL表示.....メールに添付されているiモーションのURLを表示します。
- ⑥デスクトップ貼付.....メールの送信元や同報者のメールアドレスや電話番号をデスクトップアイコンとして貼り付けます。『基本編』のP.170
- ⑦保護 / 保護解除.....メールを保護 / 保護解除します。 P.214

機能メニュー 3/4

- ①メール読み上げ.....メールの本文を読み上げます。 P.231
- ②赤外線送信.....メールを赤外線送信します。 P.350
- ③エクスポート.....メールをminiSDメモリーカードへエクスポートします。 P.376
- ④FOMAカード操作.....FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードに移動 / コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動 / コピーします。 P.218
- ⑤スクロール設定.....画面のスクロール行数を設定します。 P.224
- ⑥文字サイズ設定.....表示される文字のサイズを設定します。 P.223
- ⑦ゴミ箱へ捨てる.....メールをゴミ箱に捨てます。

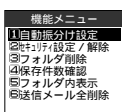
機能メニュー 4/4

- ①削除.....メールを削除します。 P.215

<メールメニュー>



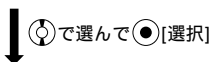
<送信フォルダ一覧画面>



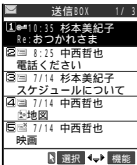
機能メニュー

- ①自動振り分け設定.....メール運動型iアプリのフォルダに送信したiモードメールやSMSを自動的に振り分けます。 P.209
- ②セキュリティ設定 / 解除.....フォルダのセキュリティを設定 / 解除します。 P.225
- ③フォルダ削除.....メール運動型iアプリのフォルダを削除します。 P.209
- ④保存件数確認.....全フォルダ内のメールの件数および保護件数を表示します。 P.151
- ⑤フォルダ内表示.....フォルダ内のメール一覧画面を表示します。
- ⑥送信メール全削除.....送信メールをすべて削除します。 P.220

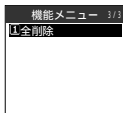
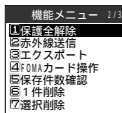
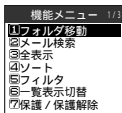
<送信フォルダ一覧画面>



<送信メール一覧画面>



[機能]



機能メニュー 1/3

- ①フォルダ移動.....メールを別のフォルダへ移動します。 P.207
- ②メール検索.....宛先あるいは題名を指定してメールを検索します。 P.216
- ③全表示.....検索、ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示(すべて新しい順に表示)に戻します。
- ④ソート.....指定した条件に従ってメールを並べ替えます。 P.214
- ⑤フィルタ.....指定した条件に従って読みたいメールだけを表示します。 P.215
- ⑥一覧表示切替.....題名、名前、アドレスに切り替えて表示します。 P.150
- ⑦保護/保護解除.....メールを保護/保護解除します。 P.217

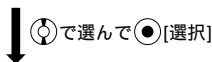
機能メニュー 2/3

- ①保護全解除.....保護されているメールの保護をすべて解除します。
- ②赤外線送信.....メールを赤外線送信します。 P.356
- ③エクスポート.....メールをminiSDメモリーカードへエクスポートします。 P.382
- ④FOMAカード操作.....FOMA端末(本体)内のSMSをFOMAカードに移動/コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末(本体)に移動/コピーします。 P.221
- ⑤保存件数確認.....フォルダ内のメールの件数および保護件数を表示します。 P.151
- ⑥1件削除.....メールを1件削除します。 P.218
- ⑦選択削除.....メールを選んで削除します。 P.219

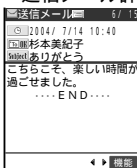
機能メニュー 3/3

- ①全削除.....フォルダ内のメールすべてを削除します。 P.220

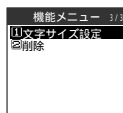
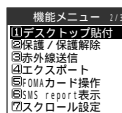
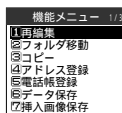
<送信メール一覧画面>



<送信メール詳細画面>



[機能]



機能メニュー 1/3

- ①再編集.....メールを編集します。 P.155
- ②フォルダ移動.....メールを別のフォルダへ移動します。 P.207
- ③コピー.....メールの本文、題名、メールアドレスをコピーします。 P.155
- ④アドレス登録.....宛先のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録します。 P.197
- ⑤電話帳登録.....メールの本文中に表示されているメールアドレスや電話番号を電話帳に登録します。 P.117
- ⑥データ保存.....メールに添付されているメロディ、画像、iモーションを保存します。 P.193
- ⑦挿入画像保存.....デコメールの本文に挿入した画像を保存します。 P.194

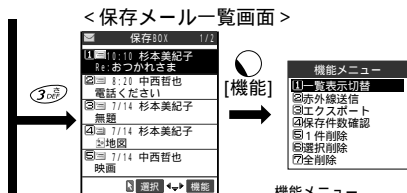
機能メニュー 2/3

- ①デスクトップ貼付.....宛先のメールアドレスや電話番号をデスクトップアイコンとして貼り付けます。『基本編』のP.170
- ②保護/保護解除.....メールを保護/保護解除します。 P.217
- ③赤外線送信.....メールを赤外線送信します。 P.356
- ④エクスポート.....メールをminiSDメモリーカードへエクスポートします。 P.382
- ⑤FOMAカード操作.....FOMA端末(本体)内のSMSをFOMAカードに移動/コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末(本体)に移動/コピーします。 P.221
- ⑥SMS report表示.....SMSのSMS report(送達通知)を表示します。 P.200
- ⑦スクロール設定.....画面のスクロール行数を設定します。 P.227

機能メニュー 3/3

- ①文字サイズ設定.....表示される文字のサイズを設定します。 P.226
- ②削除.....メールを削除します。 P.218

< メールメニュー >



< 保存メール一覧画面 >

保存BOX 1/2

1	11/11	杉本美紀子
Re:		おつかれさま
2	2/20	中西晋也
		電話ください
3	7/14	杉本美紀子
		無題
4	7/14	杉本美紀子
		地図
5	7/14	中西晋也
		挨拶

選択 機能

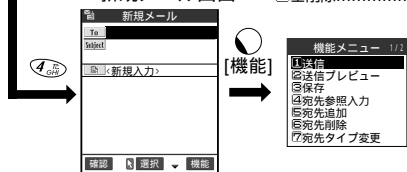
機能メニュー

- 1 一覧表示切替
- 2 赤外線送信
- 3 エクスポート
- 4 保存件数確認
- 5 1件削除
- 6 選択削除
- 7 全削除

機能メニュー

- 1 一覧表示切替..... 題名、名前、アドレスに切り替えて表示します。 P.150
- 2 赤外線送信..... メールを赤外線送信します。 P.356
- 3 エクスポート..... メールをminiSDメモリーカードへエクスポートします。 P.382
- 4 保存件数確認..... 保存BOX内のメールの件数を表示します。 P.151
- 5 1件削除..... メールを1件削除します。 P.218
- 6 選択削除..... メールを選んで削除します。 P.219
- 7 全削除..... 保存メールをすべて削除します。 P.220

< 新規メール画面 >



新規メール

To

From

Subject

機能

機能メニュー 1/2

- 1 送信
- 2 送信プレビュー
- 3 保存
- 4 宛先参照入力
- 5 宛先追加
- 6 宛先削除
- 7 宛先タイプ変更

機能メニュー 1/2

- 1 テンプレート
- 2 添付ファイル追加
- 3 添付ファイル削除
- 4 冒頭文貼付
- 5 署名貼付
- 6 本文消去
- 7 メール削除

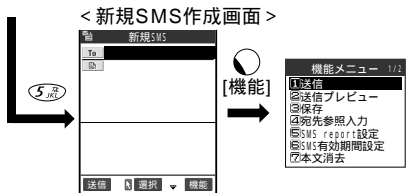
機能メニュー 1/2

- 1 送信..... iモードメールを送信します。
- 2 送信プレビュー..... 送信する前にメールの宛先や内容を確認めます。
- 3 保存..... 編集中のメールを保存BOXに保存します。 P.155
- 4 宛先参照入力..... 電話帳や履歴、メールメンバーを参照して宛先を入力します。 P.152
- 5 宛先追加..... 宛先を追加します。 P.157
- 6 宛先削除..... 複数の宛先を入力したときに、宛先を削除します。 P.157
- 7 宛先タイプ変更..... 宛先のタイプ (To、Cc、Bcc) を変更します。 P.157

機能メニュー 2/2

- 1 テンプレート..... テンプレートを使ってグリーティングカードを作成します。 P.184
- 2 添付ファイル追加..... iモードメールに、メロディ、画像、iモーションのデータを添付します。 P.162
- 3 添付ファイル削除..... 添付したファイルを削除します。
- 4 冒頭文貼付..... メール本文に冒頭文を貼り付けます。 P.161
- 5 署名貼付..... メール本文に署名を貼り付けます。 P.161
- 6 本文消去..... 編集中のメールの本文を消去します。
- 7 メール削除..... 編集中のメールを削除します。

< メールメニュー >



新規SMS

To

Message

送信 機能

機能メニュー 1/2

- 1 送信
- 2 送信プレビュー
- 3 保存
- 4 宛先参照入力
- 5 SMS report設定
- 6 SMS有効期間設定
- 7 本文消去

機能メニュー 1/2

- 1 SMS削除

機能メニュー 1/2

- 1 送信..... SMSを送信します。
- 2 送信プレビュー..... 送信する前にSMSを確認めます。 P.199
- 3 保存..... 編集中のSMSを保存BOXに保存します。 P.199
- 4 宛先参照入力..... 電話帳や履歴を参照して宛先を入力します。 P.199
- 5 SMS report設定..... SMS report (送達通知) を要求するかどうかを設定します。 P.234
- 6 SMS有効期間設定..... SMSがSMSセンターに保存される期間を設定します。 P.235
- 7 本文消去..... 編集中のSMSの本文を消去します。

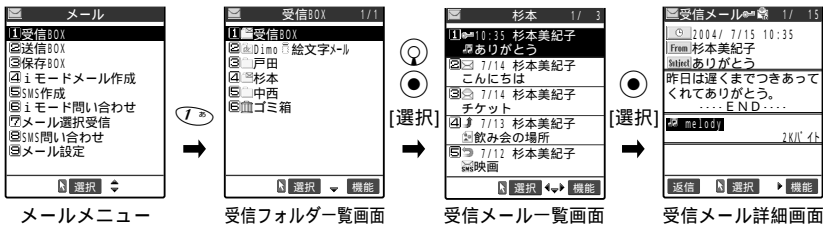
機能メニュー 2/2

- 1 SMS削除..... 編集中のSMSを削除します。

## フォルダについて

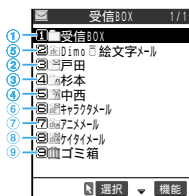
受信BOXはフォルダごとにメールを保存できます。お買い上げのときは「受信BOX」、内蔵メール運動型iアプリのフォルダ、「ゴミ箱」フォルダのみです。フォルダは追加できます。保存BOXにフォルダはありません。

例：受信BOXの場合



## 受信フォルダ一覧画面の見かた

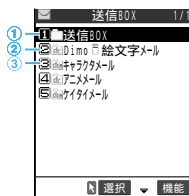
受信フォルダ一覧画面は次のように表示されます。



- : 未読メールがないことを示しています。
- : 未読メールがあることを示しています。
- : 未読メールがなく、セキュリティ(P.219)がかけられていることを示しています。
- : 未読メールがあり、セキュリティがかけられていることを示しています。
- : メール運動型iアプリ(P.170)の受信メールフォルダを示しています。
- : メール運動型iアプリの受信メールフォルダで未読メールがあることを示しています。
- : メール運動型iアプリの受信メールフォルダで、セキュリティがかけられていることを示しています。
- : メール運動型iアプリの受信メールフォルダで未読メールがあり、セキュリティがかけられていることを示します。
- : ゴミ箱のフォルダを示しています。
- : ゴミ箱のフォルダで、セキュリティがかけられていることを示しています。

## 送信フォルダ一覧画面の見かた

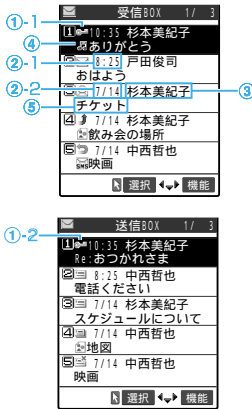
送信フォルダ一覧画面は次のように表示されます。



- : 送信メールのフォルダを示しています。
- : セキュリティ(P.219)がかけられている送信メールのフォルダを示しています。
- : メール運動型iアプリ(P.170)の送信メールフォルダを示しています。
- : メール運動型iアプリの送信メールフォルダで、セキュリティがかけられていることを示しています。

## メール一覧画面の見かた

メールの一覧画面は次のように表示されます。メール一覧画面で表示されるアイコンは、メール詳細画面でも表示されます。表示されないアイコンもあります。



メールの状態を示しています。


- 1 受信
- ✉ : 未読のメール
- ✉ : 既読のメール
- ➡ : 転送したメール
- ↩ : 返信したメール
- ✉ : 未読で保護されているメール
- ✉ : 既読で保護されているメール
- ➡ : 転送して保護されているメール
- ↩ : 返信して保護されているメール

-2 送信

- ✉ : 送信に成功したメール
- ✉ : 送信に失敗したメール
- ✉ : 複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が成功したメール
- ✉ : 複数の宛先が指定され、その一部に送信が成功したメール
- ✉ : 複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が失敗したメール
- ✉ : 保護されているメール




















送受信した時刻や日付を示しています。

- 1 当日送受信したメールは時刻が表示されます。
- 2 前日までに送受信したメールは日付が表示されます。







送信元 / 宛先を示しています。電話帳に登録がある送信元 / 宛先の場合、メールアドレスまたは電話番号で表示するか、名前で表示するかを切り替えることができます。送信元のアドレスが電話帳に登録があり、画像が登録されている場合は「」が表示されます。

メールの種別、添付ファイルや貼り付けられている情報の種類を示しています。

### 2行表示の場合

-  : SMSであることを示しています。
-  : SMSで、SMS report(送達通知)を受信済みであることを示しています。
-  : SMSで、FOMAカード内にあることを示しています。
-  : メロディが添付または貼り付けられていることを示しています。
-  : 複数のメロディが添付または貼り付けられていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
-  : 添付または貼り付けられているすべてのメロディのデータが正しくないことを示しています。また、貼り付けられているメロディで「メロディ設定 (P.225) が『無効』に設定されているときに表示されます。
-  : 画像が添付されていることを示しています。
-  : 複数の画像が添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
-  : 添付されているすべての画像のデータが正しくないことを示しています。
-  : 大容量の画像が添付されていることを示しています。
-  : iモードメールに貼り付けられている動画やiモードメールのデータを取得する前、「貼付iモード設定 (P.226) が『有効』に設定されていることを示します。
-  : iモードメールに貼り付けられている動画やiモードメールのデータを取得する前、「貼付iモード設定」が『無効』に設定されています。また、デコメールで取得する前の取得情報が正しくない場合も表示されます。
-  : iモードメールに添付されている動画やiモードメールのデータを取得後、データが正しいことを示しています。また、動画やiモードメールを添付したiモードメールを送信したときに表示されます。
-  : iモードメールに添付されている動画やiモードメールのデータを取得後、データが正しくないことを示しています。
-  : メール本文からiアプリを起動できることを示しています。「iアプリTo設定 (P.226) が『有効』に設定されている場合の表示です。
-  : メール本文からiアプリを起動できないことを示しています。「iアプリTo設定」が『無効』に設定されている場合の表示です。
-  : メール運動型iアプリが送受信したメールを示しています。
-  : 複数のデータが貼り付けられていることを示しています。また、データがiアプリToと一緒に貼り付けられている場合にも表示されます。
-  : メールを送受信したときは違うFOMAカードが使用されているため、添付または貼り付けられているファイルやデータが利用できないことを示しています。

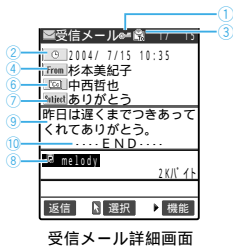
### 1行表示の場合

-  : 大容量のファイルを含まず、1個または複数のファイルが添付または貼り付けられていることを示しています。
  -  : 大容量のファイルを含まず、1個または複数のファイルが添付または貼り付けられていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
  -  : 大容量のファイルを含まず、添付または貼り付けられているすべてのファイルデータが正しくないことを示しています。
  -  : 大容量のファイルを含み、1個または複数のファイルが添付されていることを示しています。
  -  : 大容量のファイルを含み、1個または複数のファイルが添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
  -  : 大容量のファイルを含み、添付されているすべてのファイルデータが正しくないことを示しています。
- メールの題名を示しています。題名がないiモードメールの場合、題名が「無題」と表示されます。SMSの場合は本文の冒頭が表示されます(SMS reportの場合は「SMS report」が表示されます)。

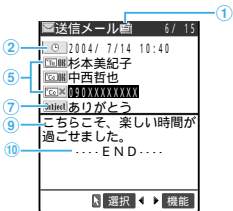
「時計設定 (『基本編』のP.65) の設定がされていない場合、送信メール一覧画面や保存メール一覧画面では時刻や日付が「--/--」で表示されます。ただし、送信に成功したSMSの場合は日付が表示されます。

## メール詳細画面の見かた

メールの詳細画面は次のように表示されます。



受信メール詳細画面



送信メール詳細画面

メールの状態が表示されます( P.147のメール一覧画面の説明 参照 )。送受信した日付と時刻(センターが受信した日付と時刻)を表示しています。受信メールの送信タイプを表示します。

: 送信元から宛先に指定されて受信したメールを示しています。

: 送信元から同報に指定されて受信したメールを示しています。

: 送信元からほかの同報送信の宛先に表示されないよう指定されて受信したメールを示しています。

受信メールで、送信元のメールアドレスを表示します。

From : 送信元のメールアドレスを示しています。

Fm : 送信元に返信できないメールアドレス(メールアドレスが半角で50文字を超えているときなど)を示しています。

送信メールで、宛先のメールアドレスおよび宛先のタイプを表示します。

送信が成功したかどうかを確認できます。宛先が複数指定されているメールでは、宛先がすべて表示されます。

To : 送信に成功した宛先を示しています。

To : 送信に失敗した宛先を示しています。

Cc : 送信に成功した同報の宛先を示しています。

Cc : 送信に失敗した同報の宛先を示しています。

Bcc : 送信に成功した非通知の同報の宛先を示しています。

Bcc : 送信に失敗した非通知の同報の宛先を示しています。

受信メールで、複数指定されている宛先を表示します(受信者本人は含みません)。最大4件まで宛先が表示されます。

To : 送信元から宛先に指定されていることを示しています。

To : 送信元から宛先に指定され、返信できないメールアドレスを示しています。

Cc : 送信元からコピーとして送るメールの同報宛先に指定されていることを示しています。

Cc : 送信元からコピーとして送るメールの同報宛先に指定され、返信できないメールアドレスを示しています。

返信できないメールアドレスには「 Fm」, 「 To」, 「 Cc」が表示されます。

受信メールの送信元または送信メールの宛先が電話帳に登録されているときには、 の欄には電話帳に登録されている「名前」が表示されます。

名前を表示するには、相手のメールアドレスを電話帳に正しく登録しておく必要があります。『基本編』のP.111 題名を示しています。題名がないときは「無題」と表示されます。受信したSMSには「」(SMSがFOMAカード内にあるときは「」)のアイコンが表示され、タイトルは「SMS」(SMS reportの場合は「SMS report」)と表示されます。SMS reportを受信済みの場合は、「」も合わせて表示されます。

添付ファイルや貼付ファイルがあるときは、アイコンとファイル名、バイト数(ファイルサイズ)が表示されます。メロディが貼り付けられているときは「」が表示されます。貼り付けられているメロディのデータが正しくない場合は、「」が表示されます。添付ファイルアイコンについて P.147

メールの本文を表示しています。

本文の終わりに表示されます。

次のときは、電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されていない「名前」が表示されず、メールアドレスのままの表示となります。

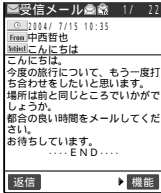
- ・「指定発信制限 (『基本編』のP.141) が設定中で、「指定発信制限」に指定されていない電話番号のとき
- ・シークレット専用モードで、シークレット登録されていない電話番号またはメールアドレスからの受信メールや、シークレット登録されていない電話番号またはメールアドレスへの送信メールを詳細表示したとき
- ・シークレットモードまたはシークレット専用モード以外で、シークレット登録された電話番号またはメールアドレスからの受信メールや、シークレット登録された電話番号またはメールアドレスへの送信メールを詳細表示したとき



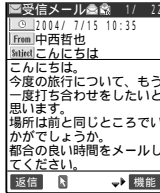
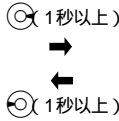
## メールの文字サイズや一覧表示方法などを切り替えます

### メールの本文の文字サイズを変えるとき

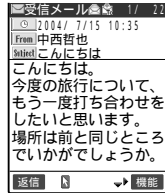
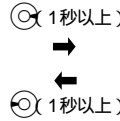
メール詳細画面を表示しているときに、本文の文字の大きさを変更できます。縮小表示の場合は、送受信日時、送信元や宛先、題名なども縮小表示されます。



縮小表示



標準表示



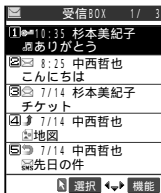
拡大表示

### お知らせ

メール詳細画面以外で $\odot$ を押したときは、ページまたはカーソルの移動になります。メール詳細画面以外に移ったときは、縮小表示または拡大表示になっていても自動的に標準表示になります。詳細画面に戻ったときは、再度、縮小表示または拡大表示になります。上記のボタン操作により表示を切り替えたときは、「文字サイズ設定 (P.220)」の設定も変更されます。

### メール一覧画面の表示切替 (1行表示 / 2行表示)

メールメニューで「メール設定」の「メール一覧表示設定」を選ぶと、メールの宛先や送信元の名前またはメールアドレスと題名の2行で表示するか、名前、メールアドレス、題名のいずれか1行で表示するかを切り替えることができます。



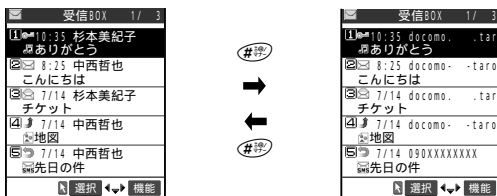
### お知らせ

「メール一覧表示設定」を変更すると、受信メール一覧画面 / 送信メール一覧画面 / 保存メール一覧画面の表示がすべて切り替わります。

## メール一覧画面の表示切替(名前表示 / アドレス表示 / 題名表示)

メール一覧画面で、メールを宛先や送信元の名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するか、題名で表示するかを切り替えられます。宛先や送信元の名前が電話帳に登録されている場合、その名前を表示できます。

### メール一覧画面(2行表示)




### メール一覧画面(1行表示)



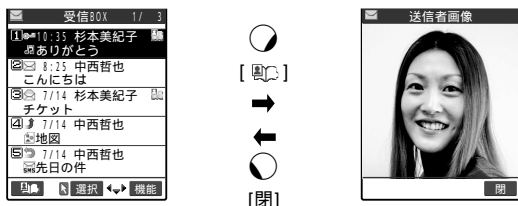
## お知らせ

受信メール一覧画面 / 送信メール一覧画面 / 保存メール一覧画面の機能メニューから「一覧表示切替」を選んで「題名表示」、「名前表示」、「アドレス表示」から項目を選んで表示の切り替えができます。ゴミ箱へ捨てるときや、選択削除、フォルダ移動の選択画面でも表示の切り替えができます。また、「自動振り分け設定 ( P.203 )」の一覧画面でも名前表示とアドレス表示の切り替えができます。

## 顔が見えるメール

メール一覧画面を表示しているときに、送信元のアドレスが電話帳に登録されており、画像が登録されている受信メールには「」が表示されます。



「」が表示されているメールを選んで $\odot$ 「」を押すと、登録した画像を見ることができます。



### おしらせ

画像を表示するには、送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録しておく必要があります。

『基本編』のP.111

「メール一覧表示設定（P.150）が1行表示で、「表示切替」で「題名表示」を選んでいる場合は、「」は表示されませんが、 $\odot$ 「」を押すと登録した画像が表示されます。

## メールの保存件数を確認するとき

受信メール / 送信メールの保存件数を確認する場合

すべてのフォルダの保存件数を確認するときは、フォルダ一覧画面で機能メニューから「保存件数確認」を選びます。

フォルダごとの保存件数を確認するときは、確認したいフォルダ内のメール一覧画面を表示した後、機能メニューから、「保存件数確認」を選びます。

メール保存件数	
受信メール	
全件:	105
未読:	15
保護:	80
FOMAカード	
受信:	10
送信:	5

受信BOXの場合

保存メールの保存件数を確認する場合

保存メールの一覧画面で機能メニューから「保存件数確認」を選びます。

### バックライト機能について

FOMA端末を開いたときやボタンを押したとき、iモードメールやSMSを送受信したときなどにバックライトを約15秒間点灯します（点灯時間は「メール/メッセージ鳴動（P.233）」の設定によって変わります）。ただしiモードメールやSMSの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。

「照明設定（『基本編』のP.183）」の「通常時」を「OFF」に設定しているときは点灯しません。

# iモードメールを作成 / 送信します

## iモードメールを作成して送信します

iモードメールを新規に作成して送信します。ここでは、電話帳を参照して宛先を入力し、テキストメールを作成して送信する方法で説明します。

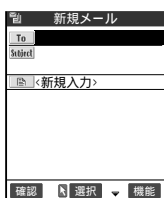
メロディ、画像、動画やiモーションを添付するには P.162

メール本文の文字色やサイズを変更したり、本文に動きをつけたり、画像やラインを挿入して装飾できます。デコメールについて P.171

### 1



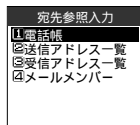
「iモードメール作成」の順に選ぶ



「MAIL」は待受画面表示中に表示されます。

### 2

機能メニューから「宛先参照入力」-「電話帳」を選んで電話帳を検索する

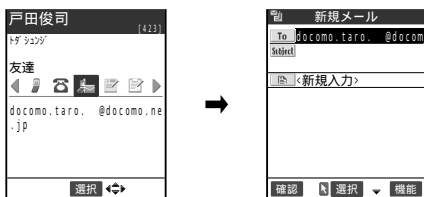


電話帳の検索について 『基本編』のP.116

宛先の入力方法はこのほかに次の方法があります。

- ・ 直接入力 P.156
- ・ アドレス一覧から入力 P.157
- ・ メールメンバーから入力 P.160

### 3 検索した電話帳の詳細画面で宛先のメールアドレスを選ぶ



送信する相手がiモード端末の場合は、宛先にメールアドレスの「@」より前の部分のみを入力しても送信できます。

宛先に「, (カンマ)」やスペースが入力されている場合は、送信できません。また、宛先が電話番号の場合、先頭に「184」/「186」/「#31#」/「\*31#」を入力して送信しようとしたときには、発信番号設定を削除して送信することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、「184」/「186」/「#31#」/「\*31#」を削除してiモードメールを送信します。

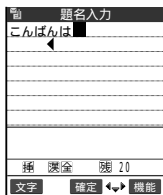
入力した宛先を変更する場合

新規メール画面で宛先を選んでメールアドレスを入力し直す

新規メール画面で機能メニューから「宛先参照入力」を選んで宛先を変更(上書き)することもできます。



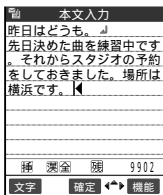
宛先を追加、宛先のタイプを変更するには P.157

### 4 「Subject」を選び、題名を入力して[確定]を押す



題名は全角で15文字、半角で30文字まで入力できます。

## 5

「」を選び、本文を入力して[確定]を押す

本文は全角で5,000文字、半角で10,000文字まで入力できます。本文編集集中に改行することもできます。改行したときは「↓」も全角1文字分としてカウントされます。スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。

## 定型文を本文を入力する場合


機能メニューから「定型文入力」を選んで定型文のフォルダから入力したい定型文を選ぶ

定型文について 『基本編』のP.322

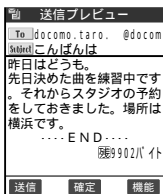
## 電話帳のデータを本文に引用する場合

機能メニューから「電話帳引用」を選んで情報を引用する

電話帳引用について 『基本編』のP.313

[確定]を押すと本文入力画面に戻ります。


## 6

内容を確認し、[送信]を押す

メール送信中のアニメーション画面が表示され、iモードメールが送信されます。「OK」を押すとメールメニュー画面に戻ります。


送信プレビュー画面を表示した後、機能メニューから「送信」を選んでも送信できます。送信プレビュー画面を一度も表示しない状態で送信することはできません。


## 送信を途中で中止する場合



を1秒以上押す

ただし、タイミングによりiモードメールが送信されることもあります。

## 内容を変更する場合

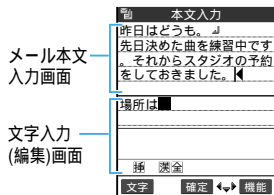
送信プレビュー画面を表示した後、[確定]を押して新規メール画面に戻り、内容を変更する

を押すと本文入力画面に戻り、本文を変更できます。

変更後、[確定]を押すと、送信プレビュー画面が表示されます。送信する場合は[送信]を押します。

## iモードメール本文入力中の画面について

iモードメール本文入力中の画面は次のように表示されます。



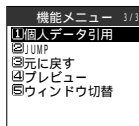
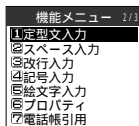
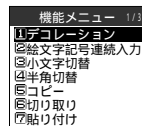
メール本文入力画面：入力を確定したメール本文が表示されます。  
 文字入力(編集)画面：文字入力エリア、操作ガイダンスエリア、情報表示エリアが表示されます。入力確定前の文字はここに表示されます。  
 文字入力(編集)画面でワード予測機能を利用して入力できます。『基本編』のP.307

文字入力方式を切り替える場合

文字入力(編集)画面で [文字] を1秒以上押す

文字入力方式について 『基本編』のP.324

メール本文入力画面で表示される機能メニューは次のとおりです。



デコレーション：本文を装飾してデコメールを作成します。 P.171

元に戻す：入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します。

プレビュー：本文のプレビュー画面を表示します。

プロパティ：本文に挿入した画像のファイル名、ファイルサイズを表示します。

ウィンドウ切替：参照返信メールの本文入力時に、参照画面と本文入力画面を切り替えます。 P.184  
 そのほかの機能については『基本編』のP.298をご覧ください。

## 電話帳の画面から、iモードメールを作成する

電話帳に登録されているメールアドレスを検索して表示し、 [MAIL] を押します。



電話帳の検索について 『基本編』の P.116

表示されていた電話帳のメールアドレスが新規メール画面の宛先に貼り付けられます。

## 未完了のiモードメールを一時保存する

メール作成中に機能メニューから「保存」を選びます。

作成中のメールが保存BOXに保存されます。SMSと合わせて10件まで保存できます。

保存したiモードメールはあとで再編集して送信できます。

## iモードメールを再編集して送信する

一度送信したiモードメールや未送信のiモードメールを編集して送信できます。

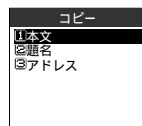
添付ファイルのある送信済みのiモードメールを再編集しても、添付ファイルは削除されません。

再編集する送信メールの詳細画面で機能メニューから「再編集」を選んで、宛先、題名、本文を編集して送信します。

## 本文などをコピーする

iモードメールの本文、題名、宛先、送信元などをコピーできます。

コピーするメールの詳細画面で機能メニューから「コピー」を選んで項目を選びます。



本文：本文をコピーします。

題名：題名をコピーします。

アドレス：メールアドレスをコピーします。

コピー方法について 『基本編』の P.317

## おしらせ



FOMA端末に保存されている送信メール(iモードメールとSMSの合計)が最大保存件数(P.21)を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に自動的に上書きされます。ただし、保護されている送信メールは上書きされません。必要な送信メールは保護することをおすすめします。

P.211

「ダイヤル発信制限」(『基本編』のP.205)を設定している場合の宛先入力、電話帳、送信アドレス一覧、発信履歴、リダイヤルを使った場合のみ行えます。

「指定発信制限」(『基本編』のP.141)を設定している場合は、「指定発信制限」に指定されていない電話番号を電話帳参照で呼び出すことはできません。

題名や本文に半角カタカナや絵文字が使われていると受信側で正しく表示されないことがあるため、iモード端末どうしでのメールのやりとり以外に使わないでください。

送信を行わずに、、を押したときは、内容を破棄して編集を終了することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、それまで入力した文字は消去されます。入力した文字を消去したくないときは、「NO」を選ぶと元の画面に戻ります。


電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。また、送信できていても「送信できませんでした」と表示される場合があります。

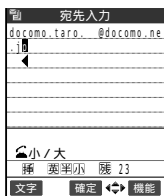
「シークレットコード」(『基本編』のP.127)が設定されている電話帳の宛先を入力した場合は、送信するときに自動的にシークレットコードが添付されます。ただし、送信したメールの宛先にはシークレットコードは保存されません。

宛先が電話番号または「電話番号@docomo.ne.jp」以外の場合は、シークレットコードは添付されません。

相手がiモードの契約をしている場合は、movaサービスのiモード端末に対してもFOMA端末からiモードメールを送信できます。

## 宛先を直接入力します

- 1 新規メール画面で「**To**」を選び、宛先を直接入力して確定を押す



宛先は半角で50文字まで入力できます。

- 2 題名、本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順についてはP.153の操作4~6を参照してください。

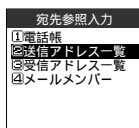


## アドレス一覧を使って宛先を入力します

メールの送信アドレス一覧や受信アドレス一覧を呼び出して、宛先を入力できます。

<例：送信アドレス一覧を呼び出す場合>

### 1 新規メール画面で機能メニューから「宛先参照入力」-「送信アドレス一覧」を選ぶ



送信アドレス一覧について 『基本編』のP.154

### 2 宛先にする送信アドレス一覧を選び、メールアドレスを確認して [選択] を押す

宛先が入力された新規メール画面が表示されます。

### 3 題名、本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順については、P.153の操作4～6を参照してください。

#### おしらせ

メールの送信アドレス一覧または受信アドレス一覧には、それぞれ送信/受信したiモードメールのメールアドレスや、SMSの電話番号などが合計30件まで記憶されます。

メールの送信アドレス一覧や受信アドレス一覧が30件を超えたときは、古いものから順に上書きされます。

「PIMロック」および「ダイヤル発信制限」(『基本編』のP.204、P.205)を設定すると、それまでのメールの送信アドレス一覧と受信アドレス一覧はすべて削除されます。

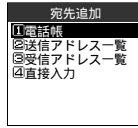
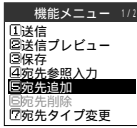
## 宛先を追加します

宛先は5件まで入力できます。すでに5件の宛先を入力している場合や、宛先を1件も入力していない場合は、機能メニューの「宛先追加」を選ぶことができません。

宛先には「**To**」「**Cc**」「**Bcc**」の3種類があります。送信相手の宛先は「**To**」に入力します。「**To**」に宛先が1件も入力されていないメールは送信できません。

<例：電話帳を参照して宛先を追加する場合>

## 1 新規メール画面で機能メニューから「宛先追加」-「電話帳」を選んで電話帳を検索する



電話帳の検索について『基本編』の P.116

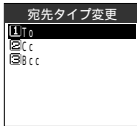
## 2 検索した電話帳の詳細画面で宛先のメールアドレスを選ぶ



さらに宛先を追加するときは操作1～2を繰り返します。

入力した宛先を変更する場合

変更したい宛先を選んでメールアドレスを入力し直す  
機能メニューから「宛先参照入力」を選んで宛先を変更(上書き)することもできます。



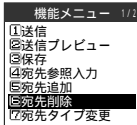
追加した宛先のタイプを変更する場合

変更したい宛先を反転表示して、機能メニューから「宛先タイプ変更」を選んで項目を選ぶ

To : 送信相手の宛先です。

Cc : 同報の宛先です。Ccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。Toの宛先に送るメールのコピーとしてほかの宛先に送る場合に選択します。

Bcc : 同報の宛先です。Bccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手には表示されません。



宛先を削除する場合

削除したい宛先を反転表示して、機能メニューから「宛先削除」を選んで「YES」を選ぶ

削除した宛先の後に宛先が入力されているときは、宛先はつめて表示されます。

宛先が1件しか入力されていないときは、宛先を削除できません。

## 3 題名、本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順については、P.153の操作4～6を参照してください。

### おしらせ

「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、すべて受信側に表示されます。ただし、受信側の端末によっては、表示されない場合もあります。「Bcc」に入力したメールアドレスは、受信側には表示されません。

指定した宛先に送信が成功したかどうかは、送信メール詳細画面で確認できます。 P.148  
同じ宛先が複数入力されているメールを送信しようとしたときは、重複する宛先を削除して送信するかどうかのメッセージが表示されます。



## メールメンバーを作成します

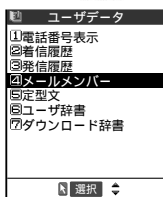
お買い上げ時 未登録

複数の宛先をFOMA端末のメールメンバーに登録することにより、iモードメール作成時に、宛先にメールメンバーを指定するだけで複数の宛先を簡単に入力できます。

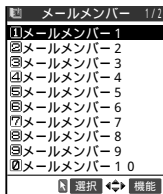
メールメンバーには20件まで登録でき、1件あたりメールアドレスを5件まで登録できます。

<例：電話帳からメールメンバーに登録する場合>

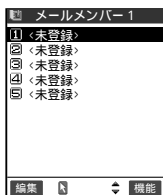
1   ユーザーデータ ▶ 「メールメンバー」の順に選ぶ



2 メールアドレスに登録する項目を選ぶ



3 「<未登録>」を反転表示して、機能メニューから「アドレス参照入力」-「電話帳」を選ぶ



送信アドレス一覧から登録する場合

「送信アドレス一覧」を選ぶ

受信アドレス一覧から登録する場合

「受信アドレス一覧」を選ぶ

メールアドレスを入力して登録する場合

「アドレス編集」を選んでメールアドレスを入力する

メールアドレスは半角の英数記号で50文字まで入力できます。

64Kデータ通信やパケット通信の着信履歴はメールメンバーには登録できません。

## 4 電話帳を検索して、電話帳の詳細画面でメールアドレスを選ぶ

選択したメールアドレスがメールメンバーに登録されます。


電話帳の検索について 『基本編』のP.116

メールアドレスを追加登録するときは、操作3～4を繰り返します。

### メンバー名を変更する

メールメンバーの一覧画面で変更したいメールメンバーを反転表示して、機能メニューから「メンバー名編集」を選びます。

メンバー名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

メンバー名をすべて削除して  [確定] を押すと、お買い上げのときのメンバー名になります。

### メンバー名を初期化する


メールメンバーの一覧画面で初期化したいメールメンバーを反転表示して、機能メニューから「メンバー名初期化」を選んで「YES」を選びます。

変更していたメンバー名を初期化するとお買い上げのときのメンバー名になります。

### メールアドレスの詳細画面を表示する

メールメンバーの一覧画面でメールアドレスが登録されているメールメンバーを選んで一覧画面でメールアドレスを選びます。

### メールメンバーのメールアドレスを変更する

メールアドレスの詳細画面、または一覧画面で変更したいメールアドレスを反転表示して、 [編集] を押します。

変更したいメールアドレスを反転表示して、機能メニューから「アドレス編集」を選んで変更できます。

「電話帳」、「送信アドレス一覧」、「受信アドレス一覧」から参照して入力するときは、メールアドレスの詳細画面、または一覧画面で変更したいメールアドレスを選んで機能メニューから「アドレス参照入力」を選びます。「YES」を選び、項目を選んで変更します。

### メールアドレスを1件削除する

メールアドレスの詳細画面、または一覧画面で削除したいメールアドレスを反転表示して、機能メニューから「1件削除」を選んで「YES」を選びます。

### メールアドレスをすべて削除する

メールアドレスの詳細画面、または一覧画面で機能メニューから「全削除」を選んで「YES」を選びます。全削除を行ってもほかのメールメンバーのメールアドレスは削除されません。また、全削除を行ってもメンバー名は削除されません。メンバー名を削除したい場合は、メンバー名を初期化してください。

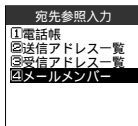
## メールメンバーを使って宛先を入力します

メールメンバーを利用すると、一度に複数の宛先を指定できます。

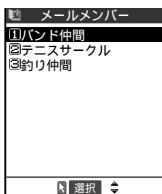
メールメンバーを利用するには、あらかじめメールメンバーにメールアドレスを登録しておく必要があります。

メールメンバーに登録されている宛先すべてが「**To**」として入力されます。宛先タイプを「**Cc**」や「**Bcc**」に変更することもできます。 P.157

## 1 新規メール画面で機能メニューから「宛先参照入力」-「メールメンバー」を選ぶ



## 2 メールメンバーを選ぶ



メールメンバーを選ぶと、宛先に入力されます。

## 3 題名、本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順については、P.153の操作4～6を参照してください。

### おしらせ

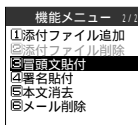
「ダイヤル発信制限」(『基本編』のP.205)を設定しているときは、メールメンバーを使った宛先の入力できません。

すでに宛先が入力されているときにメールメンバーで宛先を入力しようとした場合、宛先をすべて上書きするかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、すでに入力されていた宛先はすべて削除され、メールメンバーに登録されている宛先だけが入力されます。

## 冒頭文 / 署名を付けます

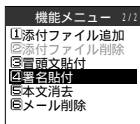
あらかじめ作成しておいた冒頭文や署名(P.222)を、iモードメールの本文に貼り付けられます。

## 1 新規メール画面で機能メニューから「冒頭文貼付」を選ぶ



本文の先頭に冒頭文が貼り付けられます。

## 2 機能メニューから「署名貼付」を選ぶ



本文の最後に署名が貼り付けられます。

貼り付けられた冒頭文や署名を確認するには、本文を選択して表示します。

### おしらせ

半角カタカナや絵文字を使った冒頭文や署名をiモードメールの本文に貼り付けて送信すると、受信側で正しく表示されないことがありますので、iモード端末どうしでのメールのやりとり以外には使わないでください。

本文と冒頭文、本文と署名の間には改行が入り、それぞれ全角1文字分としてカウントされます。貼り付けようとした冒頭文や署名と本文(添付したメロディ・画像を含む)の合計が全角で5,000文字、半角で10,000文字を超えてしまうときは、冒頭文や署名を貼り付けることができません。

## ファイルを添付します

iモードメールでは、次のようなファイルを添付して送信することができます。FOMA端末では、内蔵カメラで撮影した写真(静止画)や動画、サイトやインターネットホームページから取り込んだ画像やiモーション(iモーションメール)を添付して送ることができます。

ファイルの種類	1つのメールにつき添付できる最大ファイル数	備考
メロディ	10個	メロディと画像を合わせて最大10個まで添付可能。データ量によって最大ファイル数は減少します。さらに、大容量画像と動画/iモーションはどちらか1つだけ添付可能です。
画像 <sup>1</sup>		
大容量画像 <sup>2</sup>	1個	
動画/iモーション(iモーションメール)		

1: 内蔵カメラで撮影した静止画(P.251)やサイトからダウンロードした10,000バイト以下の画像は、画像の一覧画面でタイトル名の前(ピクチャー表示の場合はポップアップ表示されるタイトル名の前)に「JPG」,「GIF」,「JPG」,「GIF」のアイコンが表示されます。

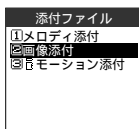
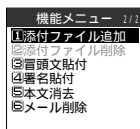
2: 10,000バイトを超える102,400バイトまでのJPEG形式の画像  
大容量画像は、画像の一覧画面でタイトル名の前(ピクチャー表示の場合はポップアップ表示されるタイトル名の前)に「JPG」または「JPG」のアイコンが表示されます。

ファイルを添付したときは、本文に入力できる文字数が少なくなります。

受信側がmovvaサービスのiモード端末のときは、添付したファイルがJPEG形式の画像1ファイル(最大10,000バイト)の場合、iショットメール(P.164)として送信されます。それ以外の添付したファイルは削除され、本文が全角で最大2,000文字分まで届きます。

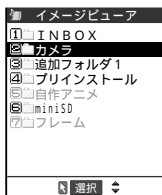
<例：画像を添付する場合>

## 1 メール作成中に機能メニューから「添付ファイル追加」-「画像添付」を選ぶ



メロディを添付する場合  
機能メニューから「添付ファイル追加」-「メロディ添付」を選ぶ

## 2 添付する画像があるフォルダを選ぶ



## 3 添付する画像を選ぶ



メールに添付できない画像は表示されません。

画像の件数が多いときや、画像のサイズが大きいときは、画像一覧画面の表示に時間がかかることがあります。

画像の一覧表示を切り替える場合

機能メニューから「タイトル名一覧」を選ぶ


ピクチャー一覧表示がタイトル名一覧表示に切り替わります。添付できない画像は選択できません。

ピクチャー一覧表示に戻す場合は、機能メニューから「ピクチャー一覧」を選びます。

画像を表示する場合

表示したい画像を  で選んで  [デモ] を押す  
一覧画面に戻るときは  を押します。

メロディを再生する場合

再生したいメロディを反転表示して、 [デモ] を押す

メロディの再生を止めるときは 、、、、 のいずれかを押します。

マナーモードに設定中の場合は、再生するかどうかを確認する画面が表示されます。再生するときは「YES」を選びます。

## movaサービスのiモード端末へ画像をiショットメールで送る

画像を添付したメールをmovaサービスのiモード端末へiショットメールとして送信できます。

movaサービスのiモード端末へ送信する場合、添付できるファイルは最大10,000バイトのJPEG形式の画像1つだけです。複数のファイルを添付すると、添付したすべてのファイルが削除されて本文だけが相手に届きます。

movaサービスのiモード端末へ送信する場合、相手側がメール分割設定をしていないときは、相手を受信できる本文は全文で184文字までになります。相手側がメール分割設定をしているときは、iショットのURL(画像の保管先)を含み全文で2,000文字まで送信できます。

使用できる画像は最大10,000バイトのJPEG形式の画像です。10,000バイトを超えるサイズのJPEG形式の画像を添付したiモードメールはmovaサービスのiモード端末には送信できません。また、サイトなどからダウンロードしたGIF形式の画像を添付した場合は、画像が削除されて本文だけが相手に届きます。

## おしらせ

次のときはファイルを添付できません。

- ・すでに本文(添付したファイルを含む)のデータ量が全文5,000文字(10,000バイト)分のとき
- ・ファイルを添付すると、本文(添付したファイルを含む)のデータ量が全文5,000文字(10,000バイト)分を超えてしまうとき  
: 添付できるデータ量を超えている画像は、画像のピクチャー閲覧画面で右のよう  
に表示されます。



- ・すでにメロディまたは画像と、大容量画像または動画やiモーションが合計で11個添付されているとき
- ・メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているとき  
内蔵カメラで撮影した静止画を添付する場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても添付/送信できますが、受け取った相手はそのファイルを外部へ出力することはできません。
- ・自作アニメのとき

次のときは大容量画像を添付できません。

- ・大容量画像のデータ量が100Kバイト(102,400バイト)を超えるとき
- ・本文(添付したファイルを含む)の残りのデータ量がテキストメールは全文で100文字(200バイト)、デコメールは全文で200文字(400バイト)分未満のとき
- ・すでに大容量画像、または動画やiモーションが添付済みのとき  
内蔵カメラで撮影した静止画を添付する場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても添付/送信できますが、受け取った相手はそのファイルを外部へ出力することはできません。

大容量画像を添付したiモードメールはiモード端末には送信できません。

大容量画像を添付したときは、本文に入力できる文字数がテキストメールは全文で100文字(200バイト)、デコメールは全文で200文字(400バイト)分減ります。

画像やメロディを添付した場合、iモードメール作成画面では実際に送信されるデータの容量が表示されます。画像の場合、イメージ情報では本FOMA端末で管理されるファイルサイズが表示されるため、iモードメール作成画面で表示される容量とは異なる場合があります。

VGAサイズの画像(P.269)をiモードメールに添付して送信した場合、受信側がパソコンや動画表示対応のFOMA端末など、表示部の大きい端末で画像を表示できます。表示可能な場合でも、画像サイズが縮小されて表示されることがあります。また、メモリが不足している場合は最大サイズを超えるため表示できないことを確認するメッセージが表示され、画像を表示することができません。

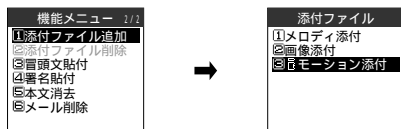
iモードメールに添付された画像は正しく表示できない場合があります。また、画像が粗く表示される場合があります。

受信側がFOMA N900i以外の場合、送信したメロディが正しく再生できない場合があります。

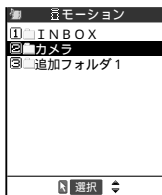


<例：動画またはiモーションを添付する場合>

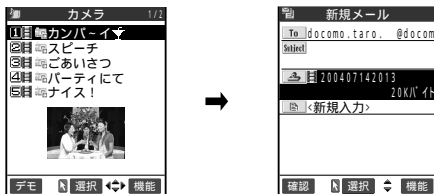
## 1 メール作成中に機能メニューから「添付ファイル追加」-「iモーション添付」を選ぶ



## 2 添付する動画またはiモーションがあるフォルダを選ぶ



## 3 添付する動画またはiモーションを選ぶ



動画やiモーションを再生する場合  
一覧画面で **[デモ]** を押す  
再生を止めるときは **[CLR]** を押します。

メールに添付できない動画やiモーションは選択できません。

## おしらせ

次のときはファイルを添付できません。

- ・すでに本文(添付したファイルを含む)のデータ量が全角5,000文字(10,000バイト)分のとき
- ・ファイルを添付すると、本文(添付したファイルを含む)のデータ量が全角5,000文字(10,000バイト)分を超えてしまうとき
- ・すでにメロディまたは画像と、大容量画像または動画やiモーションが合計で11個添付されているとき
- ・メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているとき  
内蔵カメラで撮影した動画を添付する場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても添付/送信できますが、受け取った相手はそのファイルを外部へ出力することはできません。

次のときは動画やiモーションを添付できません。

- ・動画やiモーションのデータ量が100Kバイト(102,400バイト)を超えるとき
- ・本文(添付したファイルを含む)の残りのデータ量がテキストメールは全角で100文字(200バイト)、デコメールは全角で200文字(400バイト)分未満のとき
- ・すでに大容量画像、または動画やiモーションが添付済みのとき
- ・再生制限のあるiモーションのとき  
内蔵カメラで撮影した動画を添付する場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても添付/送信できますが、受け取った相手はそのファイルを外部へ出力することはできません。

動画やiモーションを添付したときは、本文に入力できる文字数がテキストメールは全角で100文字(200バイト)、デコメールは全角で200文字(400バイト)分減ります。

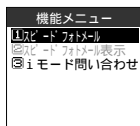
## 通話中に撮影した写真(静止画)を送信します <スピードフォトメール>

音声電話中の相手に対して、その場で撮影した静止画またはFOMA端末に保存されている静止画を送信できます。

スピードフォトメールを利用するには、あらかじめ通話中の相手の電話番号とメールアドレスが電話帳の同じひとつのメモリ番号に登録されている必要があります。

<例：その場で撮影した静止画を送信する場合>

### 1 通話中に、機能メニューから「スピードフォトメール」を選んで「フォトモード」を選ぶ



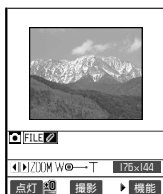
FOMA端末に保存されている静止画を送信する場合

「フォトリスト」を選ぶ

送信できない静止画はグレー表示となり選択できません。

データ量が9,000バイト以下の「メール(大)」「メール(小)」の画像のみ送信可能です。

### 2 撮影 または メモ/確認 を押して静止画を撮影する



撮影時にはシャッター音が鳴ります。

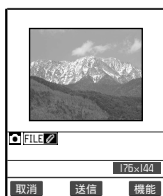
撮影前に明るさの調節や画像サイズの設定などカメラの応用機能を利用できます。 P.266

撮影した静止画を保存してから送信する場合

機能メニューから「保存&メール送信」を選ぶ

また、「イメージ貼付」を選ぶと、撮影した静止画を保存後、イメージ貼付 (P.301) を行ってから送信できます。

### 3 送信 を押して 選択 を押す



送信を確認するメッセージが表示されます。

複数のメールアドレスが登録されている場合

送信する宛先のメールアドレスを選ぶ



カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

## おしらせ

次の場合には本機能を利用できません。

- ・ 通話中の相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されていないとき
- ・ 通話中の相手の電話番号とメールアドレスが「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で電話帳に登録されているとき
- ・ 音声電話を受けた側が、電話番号が通知されない状態(非通知設定、通知不可能など)のとき
- ・ 指定発信制限中、通話中の相手の電話番号が指定発信制限に設定されていないとき
- ・ PIMロック中
- ・ パケット通信中(PPP)のとき
- ・ 保存BOXがいっぱいのとき
- ・ キャッチホン中
- ・ ソフトウェア更新中に通話状態になったとき

通話中の相手に対して複数のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、送信確認の画面で反転表示されるアドレスの優先順位は次のとおりです。 が最も優先順位が高くなります。

iモードのアドレス(「@」より後がdocomo.ne.jp)

ドメインのないアドレス、電話番号(ドメイン名とは、「@」より後の文字のことです。)

電話帳に登録されている1番目のアドレス

本機能で送信したメールは、自分の電話番号が題名となり、送信BOXに保存されます。

「添付ファイル設定」(P.227)で、「画像を受信しない」に設定した場合、スピードフォトメールの静止画が受信時に削除されます。

「画像サイズ設定」が「640×480」、「352×288」、「待受(240×269)」のいずれかで設定されている場合でも、本機能を起動すると設定は「メール大(176×144)」となります。

本機能起動中に「画像サイズ設定」を変更する場合、「メール大(176×144)」、「メール小(128×96)」以外は選択できません。

## いろいろなデータからiモードメールを作成します

次のようなデータの画面から機能メニューを表示させて「iモードメール作成」を選ぶと、そのデータを添付したり、本文に貼り付けたiモードメールを作成できます。

- ・ サイトのページ、ブックマーク、URL履歴のURL
- ・ 「メロディプレイヤー」(P.333)に保存されているメロディ
- ・ 「イメージビューア」(P.294)に保存されている画像
- ・ 「ムービープレイヤー」(P.308)に保存されている動画やiモーション
- ・ 内蔵カメラで撮影した静止画や動画 P.251、P.260<sup>1</sup>
- ・ 「スケジュール」『基本編』のP.216<sup>2</sup>
- ・ 「テキストメモ」『基本編』のP.234

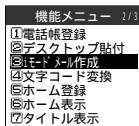
1：内蔵カメラで撮影した静止画や動画の場合、外部出力を不可に設定していても送信できますが、受け取った相手はそのファイルを外部へ出力することはできません。

2：iモードメールに貼り付けられるスケジュールのデータは、そのスケジュールの日付・開始時刻と内容のみです。

メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディ/画像/動画やiモーションから、iモードメールを作成することはできません。

<例：表示しているサイトのページのURLを本文に貼り付けてメールを作成する場合>

## 1 サイトを表示中に機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ



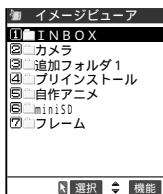
URLが本文に貼り付けられた新規メール画面が表示されます。

## 2 宛名、題名、本文を入力して送信する

これ以降の詳しい操作手順についてはP.153の操作4～6を参照してください。

<例：内蔵カメラで撮影した写真(静止画)を添付したメールを作成する場合>

## 1 イメージビューア一覧画面から添付する画像のあるフォルダを選んで画像を選ぶ



イメージビューアの操作について  
P.294

## 2 機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ

## 3 宛名、題名、本文を入力して送信する


これ以降の詳しい操作手順についてはP.153の操作4～6を参照してください。

### おしらせ

受信側がFOMA N900i以外の場合、送信したメロディが正しく再生できない場合があります。iモードメールに添付された画像は正しく表示されない場合があります。また、受信側がmovaサービスのiモード端末の場合は、添付できるファイルはJPEG形式の画像1ファイル(最大10,000バイト)のみで、本文は全角文字で最大184文字まで届きます。ただし、受信側がメールの分割設定をしている場合は、iショットのURL(画像の保管先)を含み最大全角2,000文字分まで届きます。画像のデータ量が100Kバイト(102,400バイト)分を超えるときは、機能メニューで「iモードメール作成」を選ぶことはできません。

## メール連動型iアプリを利用してiモードメールを作成します

メール連動型iアプリからiモードメールを作成できます。

メール連動型iアプリは専用のフォルダ「」を作成して受信メール、送信メールを保存します。

### 1 [MAIL] ▶ 「送信BOX」の順に選ぶ

送信BOXが表示されます。

### 2 メール連動型iアプリのフォルダ「」を選ぶ

メール連動型iアプリが起動します。

iアプリの一覧からメール連動型iアプリを選んで起動できます。

### 3 メール連動型iアプリからメールを作成する画面を選ぶ

iアプリの操作および画面はソフトによって異なります。

### 4 メールを送る操作を選ぶ

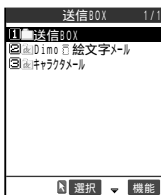
新規メール画面が表示されます。

題名、宛先、本文はメール連動型iアプリから自動で入力される場合もあります。

### 5 宛名、題名、本文を入力して送信する

入力の手順についてはP.153の操作4～5を参照してください。

#### メール連動型iアプリのフォルダについて



メール連動型iアプリを利用してiモードメールを送受信する場合は、メール連動型iアプリのダウンロード時に送信BOX、受信BOXそれぞれに作成された専用のフォルダにメールが保存されます。

メール連動型iアプリのフォルダは送信BOX、受信BOXそれぞれに5件まで作成できます。

#### おしらせ

メール連動型iアプリは、新規メール画面を表示しないでメールを送信したり、受信する場合があります。

## デコメールを作成/送信します

デコメールは、iモードメール(テキストメール)本文の文字色、文字サイズや背景色などを変更したり、文字に動きをつけたり、ラインや画像を本文内に挿入して表現力豊かなメールにしたものです。

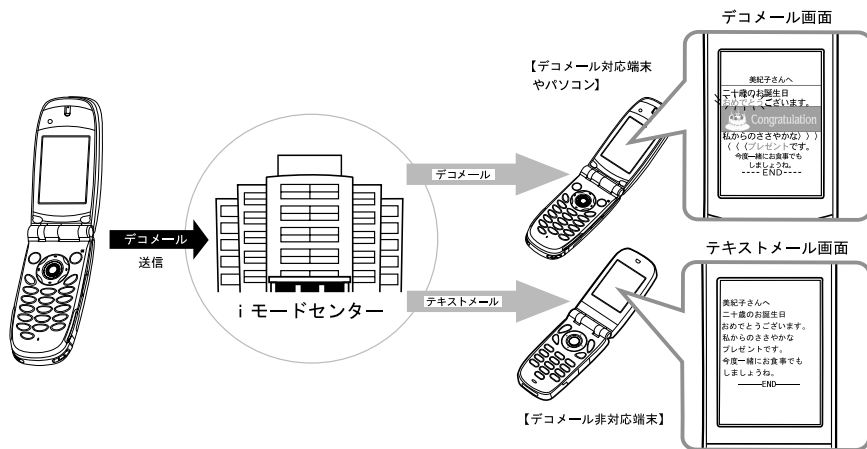
デコメールで装飾できる種類は次のとおりです。

装飾の種類	装飾の内容	機能名
文字を装飾する	文字の色を変更する	文字色
	文字のサイズを変更する	文字サイズ
文字位置を変更する	文字の左右位置を変更する	文字位置
文字に動きをつける	文字を点滅表示する	点滅
	文字を右から左にテロップ表示する	テロップ
	文字を左右に揺らす	スウィング
背景色を変更する	背景色を変更する	背景色
ラインや画像を入れる	本文中にライン(罫線)を挿入して表示する	ライン挿入
	本文中に画像を挿入する	画像挿入

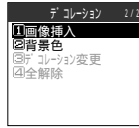
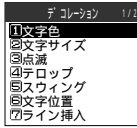
：一定の時間が経過すると、自動的に停止します(画像はアニメGIF挿入時の場合)。

デコメールで本文を装飾すると、テキストメールでの本文入力より入力できる文字数が減ります。

デコメールに対応していない端末に送信した場合は、装飾が削除された状態(テキストメール)で受信します。また、「画像挿入」した画像については、FOMA端末では添付ファイルとして受信し、mova端末ではiショットメールとして受信するか、挿入した画像が削除された状態で受信します。



## デコメールを作成して送信します

1 メール本文入力中に機能メニューから「デコレーション」を選び、  
装飾したい機能を選んでそれぞれの操作を行う

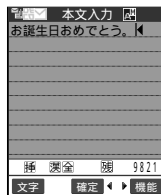
機能名について P.171

装飾する機能を選ぶと本文入力画面に戻ります。  
デコレーションの機能選択画面では、前回選んだ装飾名が反転表示されます。



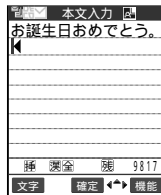
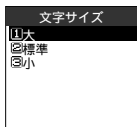
## 文字色を変更する場合

カラーパレットから文字色を選ぶ  
文字色を元に戻す場合は「指定なし」を選択します。  
文字色を変更すると、挿入した絵文字も指定した色で表示されます。



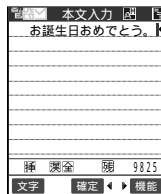
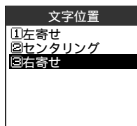
## 背景色を変更する場合

カラーパレットから背景色を選ぶ  
背景色を元に戻す場合は「指定なし」(白)を選択します。



## 文字サイズを変更する場合

「大」「標準」「小」から文字サイズを選ぶ



## 文字位置を変更する場合

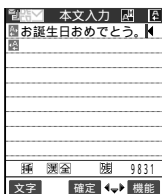
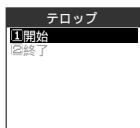
「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」から文字位置を選ぶ  
文字位置は指定した1行のみに設定されます。指定した行の長さが画面上の1行に表示しきれない場合は、複数の行にわたって文字位置が変更されます。




## 文字を点滅させる場合

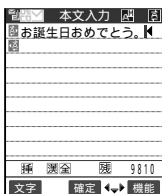
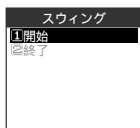
「開始」を選んで本文を入力し、機能メニューから「デコレーション」-「点滅」-「終了」を選ぶ  
「点滅」を設定した本文は反転表示されます。







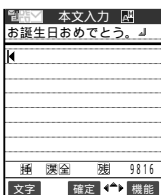
### 文字をテロップ表示させる場合

「開始」を選んで本文を入力し、機能メニューから「デコレーション」-「テロップ」-「終了」を選ぶ。「テロップ」を設定した本文は「」で囲まれ表示されます。テロップを設定した文字列を改行すると、その設定は改行の位置までとなり、次の行から新しいテロップの設定が行えます。



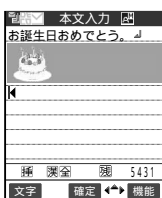
### 文字をスウィングさせる場合

「開始」を選んで本文を入力し、機能メニューから「デコレーション」-「スウィング」-「終了」を選ぶ。「スウィング」を設定した本文は「」「」で囲まれ表示されます。スウィングを設定した文字列を改行すると、その設定は改行の位置までとなり、次の行から新しいスウィングの設定が行えます。



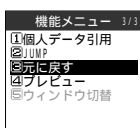
### ラインを挿入する場合

ラインを挿入する行で機能メニューから「ライン挿入」を選ぶ。ラインを挿入する前に文字色を変更すると、挿入したラインも指定した色で表示されます。




### 画像を挿入する場合

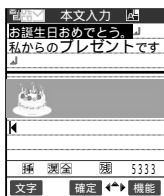
画像のあるフォルダを選んで挿入する画像を選ぶ。挿入できない画像は選択できません。また、すでにファイルを10個添付している場合は画像を挿入できません。画像を挿入する前に文字位置を変更すると、挿入した画像も指定した文字位置に表示されます。本文中に画像を挿入した場合は1個の画像挿入につき、ファイルを1個添付した状態と同じになります。同じ画像を複数挿入した場合は1個の画像として扱います。



### 装飾を1つ前の状態に戻す場合

本文入力画面で機能メニューから「元に戻す」を選ぶ。直前に設定した装飾が解除されます。直前の操作が文字の貼り付けや、を1秒以上押しての文字削除の場合なども取り消すことができます。

## 2 本文を確認する



本文入力後、装飾された本文が表示され、左上に「器」が、右上に装飾内容を示す以下のアイコンが表示されます。

: 文字色を指定したときに表示されます。

/ / :  
文字サイズがそれぞれ「大」、「標準」、「小」のときに表示されます。

: 文字位置を「センタリング」または「右寄せ」に変更したときに表示されます。

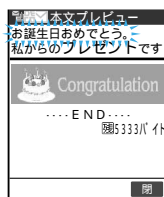
: 点滅を設定したときに表示されます。

: テロップ表示を設定したときに表示されます。

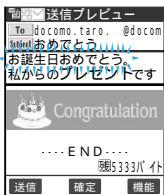
: スウィングを設定したときに表示されます。

装飾した本文を確認する場合

機能メニューから「プレビュー」を選ぶ  
本文の装飾をプレビューできます



## 3 本文入力画面で [確定] を押す



送信プレビュー画面が表示されます。

メール本文に電話番号やメールアドレス、URLやアプリへのリンクが入力されている場合はアンダーラインで表示されますが、「Phone To機能」、「Mail To機能」、「Web To機能」を利用することはできません。

## 4 [送信] を押す

[確定] を押すと、新規メール画面が表示されます。

### おしらせ

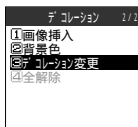
メール作成画面で「冒頭文貼付」を行った場合、冒頭文は装飾なしの状態で貼り付けられます。そのため、背景色によっては冒頭文が見えなくなることがあります。また、「署名貼付」を行った場合、署名は本文末の文字色、文字サイズの装飾を引き継いだ状態で貼り付けられます。冒頭文、署名の装飾を変更するときは、貼り付けた後に「デコレーション変更」を行ってください。 P.175  
同じ画像を挿入した場合は1個の画像として扱いますが、新規メール画面に戻ったり作成中のメールを保存したあとに同じ画像を挿入した場合は違う画像として扱うため、その画像の容量だけ本文に入力できる文字数が減ります。

## 入力された本文を装飾します

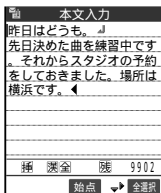
メール本文の入力後にも装飾する範囲を指定して、文字色、文字サイズ、文字位置の変更や、点滅、テロップ、スウィングの設定が行えます。すでに装飾した本文の設定内容を変更することもできます。

デコレーション変更では背景色の変更、画像の挿入、ラインの挿入は行えません。

### 1 メール本文入力中に機能メニューから「デコレーション」-「デコレーション変更」を選ぶ



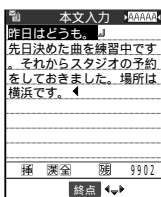
### 2 を押して装飾を変更するはじめの位置で [始点] を押す



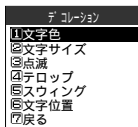
本文をすべて装飾する場合

 [全選択] を押す

### 3 を押して装飾を変更する終わりの位置まで反転表示し、 [終点] を押す



### 4 設定したい項目を選んで [選択] を押す



装飾方法について P.172


文字を点滅、テロップ表示、スウィングさせる場合

「設定」を選ぶ

すでに設定している点滅、テロップ、スウィングを解除するときは、「解除」を選んでください。

## 装飾をすべて解除します

# 1 メール本文入力中に機能メニューから「デコレーション」-「全解除」を選ぶ

メールの装飾をすべて解除することを確認するメッセージが表示され、「YES」を選ぶと装飾がすべて解除されて本文入力画面に戻ります。画像が挿入されている場合は、挿入した画像を削除するメッセージが表示されます。  
本文の左上の「」の表示が消えます。


---

## iモードメールを自動的に受信します

FOMA端末が圏内にあるときは、iモードセンターから自動的にiモードメールが送られてきます。

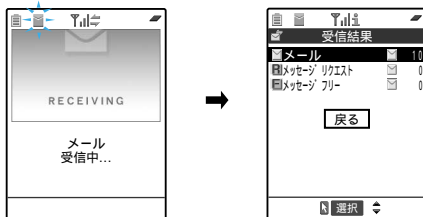
受信したiモードメールは、FOMA端末にSMSと合わせて最大で1,000件まで保存できます。受信メールの保存可能件数は、メールのデータ量により21～1,000件と変動します。メールを受信したときの着信音を「着信音選択」(『基本編』のP.163)でお好みの音に設定したり、メールを受信したときの点滅パターンを「着信イルミネーション」(『基本編』のP.185)で変更したりできます。

movaサービスのiモード端末から送られてくるiモードメールも、FOMA端末で受信できます。

FOMA端末の操作中にiモードメールを受信したときは、お買い上げのときの設定では受信中画面は表示されず、そのまま操作を続けることができます。着信音、着信ランプの点灯、バイブレータ、バックライトの点滅は行わず、「」のアイコン表示(FOMA端末を閉じている場合はイルミネーション・ウインドウのアイコン点滅とバックライト点灯)によって、メールを受信したことが通知されます。

FOMA端末の操作中にiモードメールを受信したときに、着信音が鳴り、受信中画面が表示されるように設定することもできます。 P.224


### 1 iモードメールを受信すると、「」のアイコンが点滅し「メール受信中...」と表示される





受信が終わると、受信結果画面に受信したメールやメッセージリクエスト/フリーの件数が表示されます。「メール」を選ぶと、受信メール一覧画面が表示されます。

何も操作しないで約15秒経過すると元の画面に戻ります。受信結果画面が表示される時間は「メール/メッセージ鳴動」(P.233)の設定によって変わります。

#### iモードメールのアイコン表示について


「」のアイコンが点滅しているときは、メールを受信中です。受信が完了すると、点灯します。

「」のアイコンまたは「」のアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、未読のメールを読むか、保護を解除(P.211)してください。読んだり、保護を解除したメールは、受信時に古いものから順に上書きされます。

#### iショットサービスのメールを受信した場合

movaサービスから送信されたiショットサービスのメールを受信した場合、画像は添付ファイルとして受信します。

FOMA端末に保存されている受信メール(iモードメールとSMSの合計)が最大保存件数(P.21)を超えた場合は、受信時にゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メールは削除されません。必要な受信メールは保護することをおすすめします。 P.211

表示中(受信メールの一覧画面または詳細画面)の受信メールは上書きされません(表示中にタスク切り替えを行った場合も含む)。受信メールの一覧画面または詳細画面を表示中にメールを受信したときは、表示中のメール以外のゴミ箱のメール、古いメール(未読と保護を除く)から順に上書きされます。「メール選択受信設定(P.224)を「ON」にし、iモードメールを自動受信しないように設定すると、送られてきたiモードメールはiモードセンターに保管されます(画面上部に「」のアイコンが表示されます)。この場合は、「iモード問い合わせ(P.180)を行ってセンターに保管されているiモードメールをまとめて受信したり、「メール選択受信」によりセンターに保管されているiモードメールの題名などを確認してから選択して受信できます。 P.186

iモードメールの本文は、最大で全角で5,000文字、半角で10,000文字まで受信できますが、それを超えたときは本文の最後に「/」または「//」を挿入して、超えた分を自動的に削除します。極端にデータ量の大きいメールが送られてきたときは、iモードセンターで受け付けられずに、エラーメールとともに送信元へ返信されることがあります。

メールに添付されているメロディや画像を受信するかどうかを「添付ファイル設定(P.227)で設定できます。

FOMA端末がiモードメールを受信すると、iモードセンターに保管されていたiモードメールは削除されます。

iモードセンターに保管されるiモードメールの件数は最大207~1,000件までとなります。保管件数はiモードメールのデータ量により異なります。保管期間は720時間です。720時間を超えた場合、自動的に削除されます。

iモードセンターに保管されているiモードメールが最大保管件数を超えたときは、iモードセンターではiモードメールを受信せず、送信先にエラーメッセージまたは、エラーメールとともに返信します。iモードメールではメロディや動画/iモーション、画像を添付ファイルとして送受信できます。対応していない添付ファイルはiモードセンターで自動的に削除されます。添付ファイルが削除された場合は、「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。ただし、受信したメールによっては「添付ファイル削除」のメッセージが正しく追加されなかったり、添付ファイルを正しく削除できない場合があります。

新しいiモードメールが届いたときは、iモードセンターに保管されているほかのiモードメールやメッセージリクエスト/フリーも合わせて受信します。

音声通話中にスピードフォトメールを受信すると、添付された静止画が自動的に表示されます。「スピードフォトメール表示設定(P.228)を「自動表示しない」に設定している場合は、静止画は自動表示されません。本機能で送信されたメールを受信した場合、送信元の電話番号が題名となり、本文のない画像添付iモードメールが受信BOXに保存されます。

To、Cc、Bccを設定できる端末からiモードメールを受信した場合、自分がTo、Cc、Bccのうちの宛先タイプで受信したかをFOMA端末で確認することができます。

パソコンなどから装飾されたメールを受信すると、装飾が正しく表示されないことがあります。あらかじめ、受信するiモードメールのサイズを制限できます。 P.240

iモードメールを受信したときの着信音とイルミネーションの設定の優先順は次のとおりです(最も優先度が高くなります)。

メールアドレスごとに指定した「電話帳便利機能」『基本編』のP.120

グループごとに指定した「グループ便利機能」

「着信音選択」、「着信イルミネーション」『基本編』のP.163、P.185

複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件で、着信音が鳴り、イルミネーションが点滅します。

着信音の音量は「着信音量」『基本編』のP.79)の「メール/メッセージ」で設定した音量になります。

## センターに保管されているiモードメールを受信します

お買い上げ時	すべて(メール、メッセージリクエスト、メッセージフリー)問い合わせせる
--------	-------------------------------------

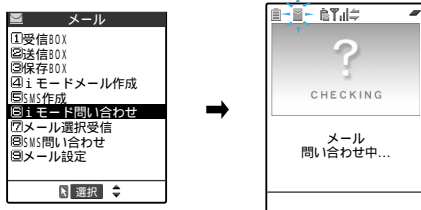
iモードセンターに届いたiモードメールは自動的にFOMA端末へ送信されますが、次の場合はiモードセンターに保管されます。

- ・FOMA端末の電源が入っていないとき
- ・「圏外」が表示されているとき
- ・メモリがいっぱいのとき
- ・「メール選択受信設定 (P.224)」が「ON」のとき

「圏外」が表示されているときは問い合わせできません。

問い合わせる項目は「iモード問い合わせ設定 (P.127)」で設定します。メッセージリクエスト/フリーの配信を希望されない場合は、「メッセージリクエスト」および「メッセージフリー」を「問い合わせしない」に設定してください。


## 1 「iモード問い合わせ」の順に選ぶ






「MAIL」は待受画面中に表示されます。

メール問い合わせ画面が表示されます。

問い合わせは「メール」「メッセージリクエスト」「メッセージフリー」の順で行います。

iモードメニューから「iモード問い合わせ」を選んだり、待受画面表示中にを1秒以上押ししても、iモード問い合わせができます。

問い合わせ中は「」「」「」が点滅して「問い合わせ中...」と表示され、iモードメールやメッセージリクエスト/フリーを受信します。



新しく受信したiモードメールとメッセージリクエスト/フリーの件数が表示されます。

問い合わせを中止する場合




問い合わせ中にを1秒以上押し

問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりiモードメールやメッセージリクエスト/フリーを受信することがあります。



### iモードメールのアイコン表示について

「」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにiモードメールが保管されています。iモードセンターに保管されているiモードメールがいっぱいになると「」のアイコンの表示になります。



「」「」「」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールやメッセージリクエスト/フリーを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、不要なメールやメッセージリクエスト/フリーを削除するか、未読のメールやメッセージリクエスト/フリーを読むか、保護を解除(P.211)してください。読みだり、保護を解除したメールやメッセージリクエスト/フリーは、受信時に古いものから順に上書きされます。


iモードセンターに保管されるiモードメールの件数は最大207~1,000件までとなります。保管件数はiモードメールのデータ量により異なります。保管期間は720時間です。720時間を超えた場合、自動的に削除されます。

iモードセンターにiモードメールが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「」が表示されているときにセンターに届いた場合などは、「」のアイコンが表示されないことがあります。

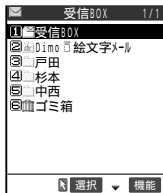
iモード問い合わせ中にセンターでお預かりしたiモードメールやメッセージリクエスト/フリーは、件数に反映されないことがあります。


## 受信したiモードメールを見ます

FOMA端末が圏内にあるときは、iモードセンターから自動的にiモードメールが送られてきます。受信したメールは受信BOX内に保存されます。

iモードセンターからFOMA端末にiモードメールが届くと画面の上部に「」が表示されます。

### 1 「MAIL」▶「受信BOX」▶「受信BOX」の順に選ぶ

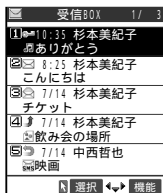


「MAIL」は待受画面中に表示されます。

追加したフォルダがある場合は、受信BOXフォルダ一覧画面でフォルダを選びます。


受信メール一覧画面が表示されます。

### 2 表示したいメールを選ぶ




前後のメールを表示する場合

メール詳細画面でを押す

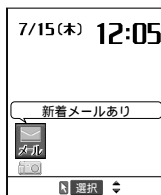
を押すと、受信メール一覧画面に戻ります。

## 待受画面でメールを受信した場合

iモードメールを受信すると待受画面に「メール」が表示され、これを選ぶと「新着メールあり」と表示されます。

受信BOX画面を表示しているときに受信した場合など、表示されないこともあります。

このアイコンから受信メール一覧画面を表示させることができます。



## FOMA端末を閉じているときに受信した場合




iモードメールを受信すると、イルミネーション・ウィンドウにメールを受信したことを通知するメッセージが表示されます。



## お知らせ

受信メール一覧画面で機能メニューから「メール情報」を選ぶと、メールを開く前に送信元と題名、iモードセンターに届いた日付・時刻を確認できます。

iモードメールの送信元や同報者のメールアドレスをデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けることができます。貼り付けたアイコンから、そのメールアドレスを宛先とする新規iモードメールを作成することができます。

ただし、「」「」「

## メール連動型iアプリについて

- ・メール連動型iアプリを利用して送信したiモードメールは、そのメール連動型iアプリ専用フォルダに振り分けられます。
- ・送信元がメール連動型iアプリを利用して送信してきたiモードメールは、受信側にそのメール連動型iアプリ専用フォルダがある場合、そのフォルダに振り分けられます。  
専用フォルダがない場合、「自動振り分け設定」を設定しているときはその設定に従ってフォルダに振り分けられ、設定されていないときは受信BOXに振り分けられます。
- ・メール連動型iアプリ専用フォルダを選ぶとソフトが起動します。
- ・ソフトを起動させずにフォルダ内のメール一覧画面を表示するには、そのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選びます。

# 受信したiモードメールに返信します

iモードメールの送信元に返信できます。返信には、新たに本文を入力する方法、メールを参照しながら本文を入力する方法、受信したiモードメールの本文を引用する方法があります。

「ダイヤル発信制限」(『基本編』のP.205)を設定している場合、送信元、同報 (To、Cc) の宛先がすべて電話帳に登録されているiモードメールにのみ返信できます。

返信するiモードメールの題名には「Re:」が追加されます。題名の文字数が「Re:」と合わせて全角で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。

## 新たに本文を入力して返信します

### 1 返信するメールの詳細画面を表示し、 [返信] を押す



受信したiモードメールを見るには P.181

複数の宛先があるメールの送信元へ返信する場合

返信画面で「送信元へ」を選ぶ



同報の宛先のすべてに返信したい場合は、「すべてへ」を選びます。

送信元が返信不可の場合、ほかの同報の宛先を含めすべての宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

同報の宛先に返信不可の宛先が含まれている場合、返信不可の宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

### 2 題名、本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順については、P.153の操作4～6を参照してください。

送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「」が「」に変わります。

#### おしらせ

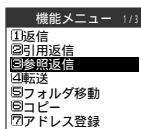
題名に「Re: (すべて半角文字)」がついたiモードメールに返信する場合、返信するiモードメールの題名に「Re:」の代わりに「Re2:」が追加されます。以降、「Re2:」がついているときは「Re3:」、「Re3:」がついているときは「Re4:」というように、「Re99:」まで追加されます。「Re:」に全角文字が含まれていたり、「RE: (Eが大文字)」となっている場合は、題名の先頭に新たに「Re:」が追加されます。

題名や本文に半角カタカナや絵文字が使われていると、受信側で正しく表示されないことがありますので、iモード端末どうしでのメールのやりとり以外には使わないでください。

返信するiモードメールにファイルやアプリの起動情報 (アプリTo)、iモーションの取得情報が添付または貼り付けられているときは、ファイルや情報が削除されます。

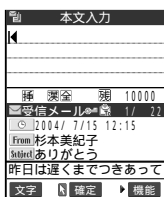
## 受信メールを参照して返信します

### 1 返信するメールの詳細画面を表示し、機能メニューから「参照返信」を選ぶ



受信したiモードメールを見るには P.181

参照返信メールでは、画面上に本文入力画面、画面下に受信メール本文画面(参照画面)が表示されます。



参照/本文入力画面を切り替える場合

ニューロポインターを使って画面を切り替えます。

「ニューロポインター設定(『基本編』のP.249)の「ポインター表示」が「OFF」に設定されている場合は、機能メニューから「ウィンドウ切替」を選ぶか、を1秒以上押して切り替えることができます。

参照画面から本文、題名、アドレスをコピーする場合

参照画面で機能メニューから「コピー」を選んで「本文」、「題名」、「アドレス」を選ぶ

コピー方法については『基本編』のP.317

複数の宛先があるメールの送信元へ返信する場合

参照返信画面で「送信元へ」を選ぶ

同報の宛先のすべてに返信したい場合は、「すべてへ」を選びます。送信元が返信不可の場合、ほかの同報の宛先を含めすべての宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

同報の宛先に返信不可の宛先が含まれている場合、返信不可の宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

### 2 本文を編集して送信します

題名を編集する場合

送信プレビュー画面を表示した後、 [確定] を押してメール返信画面に戻り、「Subject」を選んで題名を入力し直す

送信プレビュー画面を表示した後、 [確定] を押してメール返信画面に戻ってから再度本文入力画面を表示したときは、参照画面は表示されません。

これ以降の詳しい操作手順については、P.153の操作5～6を参照してください。送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「」が「」に変わります。

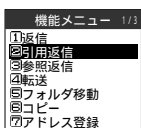
## 本文を引用して返信します

受信したiモードメールの本文を引用して返信できます。

受信したデコメールを引用返信した場合は、装飾された本文や挿入された画像は引用された状態で本文が表示されます。

引用したiモードメールの添付ファイルは削除されます。

### 1 返信するメールの詳細画面を表示し、機能メニューから「引用返信」を選ぶ



複数の宛先のあるメールの送信元へ引用返信する場合



引用返信画面で「送信元へ」を選ぶ

同報の宛先のすべてに返信したい場合は、「すべてへ」を選びます。

返信メールの本文に受信したメールの本文が引用されて表示されます。引用符(お買い上げのときは「>」)は、引用返信するメールの本文の行頭にひとつだけつきます。本文の行頭のすべてには付きません。

引用符を編集するには P.222

## 2 題名、本文を編集して送信する

これ以降の詳しい操作手順についてはP.153の操作4～6を参照してください。  
送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「」が「」に変わります。

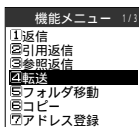
# 受信したiモードメールを転送します

受信したiモードメールをほかの人に転送できます。

転送するiモードメールの題名には「Fw:」が追加されます。題名の文字数が「Fw:」と合わせて全角文字で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。

受信したデコメールを転送した場合は、装飾された本文や挿入された画像は引用された状態で本文が表示されます。

## 1 転送するメールの詳細画面を表示し、機能メニューから「転送」を選ぶ



受信したiモードメールを見るには P.181

## 2 宛先を入力して [ 確定 ] を押す



電話帳やアドレス一覧、メールメンバーを使って宛先を入力する場合

メール転送画面で機能メニューから「宛先参照入力」を選ぶ

宛先の詳しい入力操作について P.152、P.157

題名、本文を編集できます。受信したメールの本文、追加した文、冒頭文、署名、添付されているメロディや画像を合わせて全角で5,000文字分、半角で10,000文字分まで転送できます。

## 3 [ 確認 ] を押して送信プレビュー画面で内容を確認し、 [ 送信 ] を押す

送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「」が「」に変わります。

### おしらせ

題名に「Fw:」(すべて半角文字)がついたiモードメールを転送する場合、転送するiモードメールの題名に「Fw:」の代わりに「Fw2:」が追加されます。以降「Fw2:」がついているときは「Fw3:」、「Fw3:」がついているときは「Fw4:」、「Fw99:」まで追加されます。「Fw:」に全角文字が含まれていたり、「FW:」(「W」が大文字)となっている場合は、題名の先頭に新たに「Fw:」が追加されます。

題名や本文に半角カタカナや絵文字が使われていると、受信側で正しく表示されないことがありますので、iモード端末どうしでのメールのやりとり以外には使わないでください。

転送するiモードメールに、iアプリの起動情報(iアプリTo)、iモーション取得情報、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。

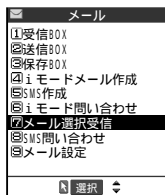
転送するiモードメールにiモーションが添付されているときは、本文に入力できる文字数がテキストメールの場合は全角で4,900文字(9,800バイト)分、デコメールの場合は全角で4,800文字(9,600バイト)分になります。すでにそれを超える文字が本文に入力されているときは、文字数がオーバーしていることを通知するメッセージが表示されます。「OK」を選び、本文入力画面で残文字数が「0」になるまで、本文を削除してください。

## iモードメールを選択して受信します

iモードセンターに保管されているメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にiモードセンターでメールを削除できます。

本機能を利用するには、あらかじめ「メール選択受信設定」(P.224)を「ON」に設定しておく必要があります。

## 1 「メール選択受信」の順に選ぶ

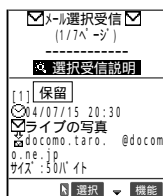


「メール選択受信設定」が「OFF」に設定されている場合

メール選択受信を設定するかどうかのメッセージが表示され、「メール選択受信設定へ」を選ぶと「メール選択受信」を設定できます。選択受信を「ON」に設定すると、操作2に進みます。

本機能を利用してメール選択受信画面を表示した場合、メールを受信、削除しなくても「受信」のアイコンは消灯します。

## 2 メールごとに項目を選んで設定する



受信：選択したメールを受信します。

削除：選択したメールを削除します。

保留：選択したメールはそのままiモードセンターに保管されます。

「iモード問い合わせ」(P.180)などで受信してください。

メールをすべて削除する場合

ページが一番下にある「削除」を選んで「決定」を選ぶ

ページが複数ある場合

「前ページ」または「次ページ」を選んでページを前後に移動して選択受信する

2ページ目を表示した場合、1ページ目の選択内容はそのまま有効となります。

「サイズ：XXXバイト」の後に表示されているアイコンの意味は次のとおりです。

：画像ファイルが添付されています。

：メロディファイルが添付されています。

：iモーションが添付されています。

## 3 「受信 / 削除」を選んで「決定」を選ぶ



完了画面が表示され、メールの受信が始まります。

選択受信を中止する場合

「キャンセル」を選ぶ

ページが複数ある場合、ページの途中で「受信 / 削除」を選ぶと、選んだページまで選択受信(保留、受信、削除)を行い、それ以降のページのメールについては、iモードセンターにすべて保管されます。

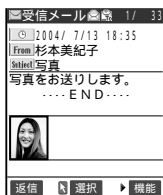
## iモードメールに添付された情報を利用します

iモードメールに添付または貼り付けられているファイルや、送信元のメールアドレスなどを、FOMA端末に保存できます。

### 添付された画像を表示/保存します

受信したiモードメールに添付された画像を保存できます。

#### 1 受信メール一覧画面で「」または「」のついたメールを選ぶ



添付された画像が表示されます。

複数の画像が添付されている場合は、すべて表示されます。

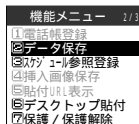
デコメールの場合、本文内に挿入されている画像はすべて表示されますが、添付された画像は表示されません。表示する画像のファイル名を選ぶと画像が表示されます。

画像表示をファイル名表示に切り替える場合

ファイル名を表示する画像を選択する

画像表示に戻るには、ファイル名を表示する画像を選択します。

#### 2 保存する画像を反転表示して、機能メニューから「データ保存」を選び、「YES」を選んで保存するフォルダを選ぶ



保存した画像は続いて表示される画面で待受画像などに設定することもできます。

### おしらせ

保存した画像のファイル名が半角英数字のみの場合、そのファイル名で保存されます(ただし、半角で36文字まで)。ファイル名に「.」が含まれている場合は、「.」以降の文字が削除されて保存されます。ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれている場合は、「imagexxx (xxx:3桁の番号)」のファイル名で保存されます。ファイル名の末尾3桁の番号は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号としてつけられます。

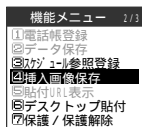
iモードメールに添付された画像は、正しく表示できない場合があります。また、画像のサイズによっては、縦横同率で縮小表示される場合があります。

別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを抜いたままFOMA端末の電源を入れた場合は、添付または貼り付けられているファイルの表示や再生ができません。

## 本文に挿入された画像を保存します

デコメールの本文に挿入された画像を保存できます。

### 1 受信メール一覧画面でメールを選び、機能メニューから「挿入画像保存」を選ぶ



送信メール詳細画面の機能メニューから「挿入画像保存」を選んで、挿入された画像を保存できます。

### 2 保存する画像を選び、「YES」を選んで保存するフォルダを選ぶ

保存した画像は続いて表示される画面で待受画像などに設定することもできます。

## 添付または貼り付けられたメロディを再生/保存します

お買い上げ時 自動再生する

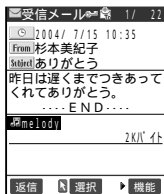
受信したiモードメールに添付または貼り付けられたメロディをFOMA端末に保存できます。

通話中はメロディの再生ができません。

送信元がFOMA N900i以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。

### 保存件数やメモリに空きがある場合

### 1 受信メール一覧画面で「」または「」のついたメールを選ぶ



複数のメロディが添付されている場合は、すべて再生されます。再生したいメロディを選ぶと、そのメロディのみを再生します。

メロディを止める場合

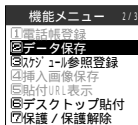
、、、、、のいずれかのボタンを押す

メールを開いたときにメロディを自動再生させたくない場合

「開封時メロディ再生設定 (P.225)を「自動再生しない」に設定する



## 2 保存するメロディを反転表示して、機能メニューから「データ保存」を選び、「YES」を選んで保存するフォルダを選ぶ



保存したメロディは続いて表示される画面で着音音に設定することもできます。

### おしらせ

保存したメロディは一覧の一番目に表示されます。

保存したメロディのファイル名が半角英数字のみの場合、そのファイル名で保存されます(ただし、半角で36文字まで)。ファイル名に「.」が含まれている場合は、「.」以降の文字が削除されて保存されます。ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれている場合は、「melodyxxx」(xxx:3桁の番号)のファイル名で保存されます。ファイル名の末尾3桁の番号は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号としてつけられます。

「貼付メロディ設定」(P.225)が「無効」に設定されていると、iモードメールの本文に貼り付けられたメロディは文字列で表示され、再生/保存することはできません。

メール本文中に貼り付けられているメロディが複数ある場合や、iアプリToと一緒に貼り付けられているときには、「☐」が表示され、両方のデータが無効となります。「貼付メロディ設定」や「iアプリTo設定」を無効にしても、データは文字として表示されません。

## 保存されている画像/メロディがいっぱいするとき

すでに画像やメロディが最大保存件数まで保存されているときや、メモリの空きが不足しているときは、不要になった画像やメロディを削除してから保存します。

## 1 保存時に表示される削除するかどうかのメッセージで「YES」を選び、削除する画像またはメロディのあるフォルダを選ぶ

## 2 削除する画像またはメロディを選ぶ



画像の場合

選択した画像またはメロディがチェックされます。

画面左下に「完了」と表示されるまで画像またはメロディを選択してください。

チェックされた画像またはメロディをもう一度選ぶと、選択を解除します。

## 3 [完了] を押し、「YES」を選んで保存するフォルダを選ぶ

保存したことを通知するメッセージが表示されます。

## おしらせ

「画面表示設定」(『基本編』のP.177)などに設定されている画像(「」のついている画像)や、着信音などに設定されているメロディ(「」のついているメロディ)を削除しようとすると、設定中の画像またはメロディを削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと削除されます。

「画面表示設定」などに設定されている画像や、着信音などに設定されているメロディを削除すると、設定していた項目はお買い上げのときの設定に戻ります。

## 動画/iモーションを保存します

iモーション保存

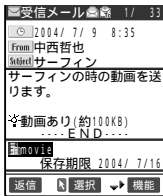
iモーションメールとして送られてきた動画やiモーションのファイルは、受信してもFOMA端末に取り込まれていないため、iモーションメールセンターから取り込んでから保存します。iモーションメールで取り込んだ動画やiモーションは、受信メールの一部として保存されます。

保存した動画やiモーションは、「ムービープレーヤー」(P.308)で再生できます。

iモーションメールに添付されている動画やiモーションは、受信者のみiモーションメールセンターから取り込むことができます。

<例：iモーションを保存する場合>

## 1 受信メール一覧画面で「」のアイコンがついたメールを選ぶ



iモーションの取得先のURLを表示する場合

メール詳細画面で機能メニューから「貼付URL表示」を選ぶ

## 2 取り込むiモーションを選ぶ



iモーションが取り込まれます。

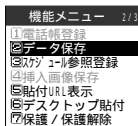
データの取得が完了すると、データ取得完了画面が表示され、受信メール詳細画面の「」が「」に変わります。

iモーションの取り込みを途中で中止する場合

Ⓞ(OK)を1秒以上押す

iモーションによっては、データの取り込み中に自動的に再生が始まります。再生が終わるとデータ取得完了画面が表示されます。

### 3 機能メニューから「データ保存」を選び「YES」を選んで保存するフォルダを選ぶ



iモーションを保存したことを通知するメッセージが表示されます。保存されているiモーションがいっぱいときは、メッセージに従って不要になったiモーションを削除します。 P.98

#### おしらせ

iモーションメールで取り込んだ動画やiモーションは、受信メールの一部として保存されます。その際、FOMA端末に保存されている受信メールが最大保存件数を越えた場合は、取り込む際にゴミ箱のメール、古い受信メールから自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メールは削除されません。必要な受信メールは保護することをおすすめします。 P.211


iモーションメールに添付されている動画やiモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

「貼付iモーション設定 (P.226)」が「無効」に設定されている場合は、メールの本文中には取得前のiモーションは表示されません。

「iモーション自動再生設定 (P.227)」が「自動再生する」に設定されている場合、iモーションが自動再生されます。「自動再生しない」に設定されている場合、再生画面は表示されずデータ取得完了の確認画面が表示されます。

iモーションによっては、データを取り込みながら再生ができないものもあります。

データを取り込みながら再生できるiモーションの場合、電波状況等によりデータを取り込むことができなくなったときでも、取り込んだところまでは再生されます。なお、データ取得完了画面は表示されず、再度データを取り込むこととなります。

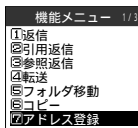
メール本文中に貼り付けられている動画が複数ある場合や、iアプリToと一緒に貼り付けられているときには、「」が表示され、両方のデータが無効となります。「貼付iモーション設定」や「iアプリTo設定」を無効にしても、データは文字として表示されません。

## 送信元のアドレスや電話番号を登録します アドレス登録

受信したメールの送信元のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

<例：送信元のメールアドレスを電話帳に登録する場合>

### 1 受信メール一覧画面でメールを選び、機能メニューから「アドレス登録」を選ぶ

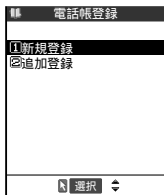


登録候補として複数のメールアドレスが存在する場合

メールアドレスを選ぶ画面で登録したいメールアドレスを選ぶ  
送信したメールの宛先のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する場合

送信メール詳細画面の機能メニューから「アドレス登録」を選ぶ  
複数の宛先に送信したiモードメールの場合は、表示されるメールアドレスのリストから登録するメールアドレスを選びます。

## 2 「YES」を選んで「本体」-「新規登録」を選ぶ



電話帳新規登録画面に、入力された項目の内容が表示されます。必要な項目を入力して電話帳に登録します。

電話帳の登録について 『基本編』のP.108




FOMAカードの電話帳に登録する場合

登録先に「FOMAカード」を選ぶ

FOMAカードの電話帳に登録するときは、登録方法の「追加登録」の代わりに「上書き登録」と表示されます。

### お知らせ

「指定発信制限」や「ダイヤル発信制限」(『基本編』のP.141、P.205)を設定しているときは、電話帳登録はできません。

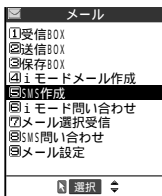
「」「」「」のアイコンのついたメールアドレスや電話番号は登録できません。


# SMSを作成 / 送信します

## SMSを作成して送信します

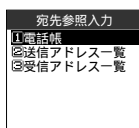
ここでは、電話帳を参照して宛先を入力する方法で説明します。  
SMSの宛先には電話番号を入力します。

### 1 「SMS作成」の順に選ぶ



「」は待受画面中に表示されます。

### 2 機能メニューから「宛先参照入力」-「電話帳」を選んで電話帳を検索する



電話帳の検索について 『基本編』のP.116

SMSの宛先は1件のみ入力できます。

#### 宛先を直接入力する場合

新規SMS画面で宛先入力欄を選んで宛先を直接入力する  
アドレス一覧から入力するには P.157

#### 入力した宛先を変更する場合

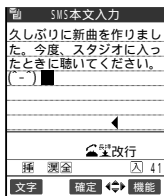
新規SMS画面で宛先を選んで電話番号を入力し直す  
新規SMS画面で機能メニューから「宛先参照入力」を選んで宛先を変更(上書き)することもできます。

次の場合は、入力した宛先にSMSを送信することはできません。

- ・宛先に数字、「\*」、「#」以外の文字が含まれているとき
- ・宛先にスペースが含まれているとき

宛先の先頭に「184」/「186」/「#31#」/「\*31#」を入力して送信しようとしたときは、発番号設定を削除して送信することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、「184」/「186」/「#31#」/「\*31#」を削除してSMSを送信します。

### 3 「」を選び、本文を入力して $\odot$ [ 確定 ] を押す



本文編集画面では、全角で80文字分まで入力できますが、送信できるのは全角で70文字、半角の英数字や記号(「[ F ]」,「.」「^」「`」を除く)のみでは160文字までです。

送信可能な文字数を超えた場合は文字数オーバーのため文末が削除されることを確認するメッセージが表示され、「YES」を選ぶと超えた部分を削除して送信します。

スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。

機能メニューから「本文消去」を選ぶと本文のみを消去できます。

「SMS削除」を選ぶと編集中のSMSを削除できます。

### 4 新規SMS画面で $\odot$ [ 送信 ] を押す

メール送信中のアニメーション画面が表示され、SMSが送信されます。「OK」を押すとメールメニュー画面に戻ります。

未完成のSMSを一時保存する場合

SMS作成中に機能メニューから「保存」を選ぶ

作成中のSMSが保存BOXに保存されます。iモードメールと合わせて10件まで保存できます。保存したSMSはあとで再編集して送信できます。

送信前にSMSの内容を確認する場合 < 送信プレビュー >

SMS作成中に機能メニューから「送信プレビュー」を選ぶ

SMSの宛先、本文を確認できます。


送信済み、未送信のSMSを再編集するには P.155


本文などをコピーするには P.155

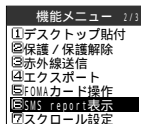
送信を行わずに $\odot$  (cancel) 、 $\odot$  (stop) を押したときは、内容を破棄して編集を終了することを確認するメッセージが表示されます。

#### SMS report( 送達通知 )について SMS report表示

「SMS report設定 ( P.228 )を「要求する」に設定した場合、SMS送信後にSMS reportが送られてきます。SMS reportは受信BOXに保存されますが、送信したSMSにもSMS reportが保存され、送信したSMSが相手に届いたかどうかを確認できます。

SMS report(  )があるSMSを表示し、機能メニューから「SMS report表示」を選びます。

SMS reportは、受信メール一覧画面でSMS reportを選んでも表示できません。SMS reportは題名に「SMS report」と表示されます。



FOMA端末に保存されている送信メール(SMSとiモードメールの合計)が最大保存件数(P.21)を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に自動的に削除されます。ただし、保護されている送信メールは削除されません。必要な送信メールは保護することをおすすめします。

P.211

「ダイヤル発信制限(『基本編』のP.205)を設定している場合の宛先入力、電話帳、送信アドレス一覧、発信履歴、リダイヤルを使った場合のみ行えます。

「指定発信制限(『基本編』のP.141)を設定しているときは、「指定発信制限」に指定されていない電話番号を電話帳参照で呼び出すことはできません。

電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。

SMSの再編集を行った場合、「SMS report設定」および「SMS有効期間設定」は送信した時の設定で送信されます。

送信後、SMSが相手に届いたかどうかを通知するSMS reportが届くように「SMS report設定」(P.228)で設定できます。「SMS report設定」はSMS作成中に機能メニューから「SMS report設定」を選んで設定できます。機能メニューで変更した「SMS report設定」および「SMS有効期間設定」の設定は、保存BOX内でも保持されます。

発信者番号通知を「通知しない」に設定しても、SMS送信時は受信側に発信者番号が通知されます。


# SMSを自動的に受信します

FOMA端末が圏内にあるときは、SMSセンターから自動的にSMSが送られてきます。

受信したSMSは、FOMA端末にiモードメールと合わせて最大で1,000件まで保存できます。受信メールの保存可能件数は、メールのデータ量により21~1,000件と変動します。また、SMSはFOMAカードに20件まで保存することもできます。

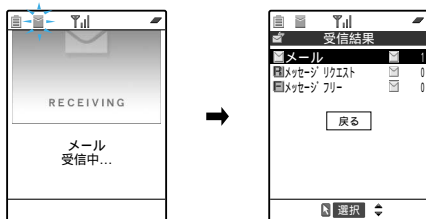
メールを受信したときの着信音を「着信音選択」(『基本編』のP.163)でお好みの音に設定したり、メールを受信したときの点滅パターンを「着信イルミネーション」(『基本編』のP.185)で変更したりできます。

movaサービスのiモード端末から送信されたショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。

FOMA端末の操作中にSMSを受信したときは、お買い上げのときの設定では受信中画面は表示されず、そのまま操作を続けることができます。着信音、LED点灯、パイプレータ、バックライトの点滅は行なわず、「」のアイコン表示(FOMA端末を閉じている場合はイルミネーション・ウインドウのアイコン点滅とバックライト点灯)によって、メールを受信したことが通知されます。

FOMA端末の操作中にSMSを受信したときに、着信音が鳴り、受信中画面が表示するように設定することもできます。 P.224

## 1 SMSを受信すると、「」のアイコンが点滅し「メール受信中...」と表示される



受信が終わると、受信結果画面に受信したSMS、iモードメールやメッセージリクエスト/フリーの件数が表示されます。

「メール」を選ぶと、受信メール一覧画面が表示されます。

何も操作しないで約15秒経過すると元の画面に戻ります。受信結果画面が表示される時間は「メール/メッセージ鳴動」(P.233)の設定によって変わります。

着信音の音量は「着信音量」(『基本編』のP.79)の「メール/メッセージ」で設定した音量になります。



FOMA端末に保存されている受信メール(iモードメールとSMSの合計)が最大保存件数(P.21)を超えた場合は、受信時にゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に上書きされます。ただし、未読のメールと保護されている受信メールは上書きされません。必要な受信メールは保護することをおすすめします。 P.211

表示中(受信メールの一覧画面または詳細画面)の受信メールは上書きされません(表示中にタスク切り替えを行った場合も含む)。受信メールの一覧画面または詳細画面を表示中にメールを受信したときは、表示中のメール以外のゴミ箱のメール、古いメール(未読と保護を除く)から順に上書きされます。FOMAカード内のSMSは上書きされません。

SMSを受信したときの着信音とイルミネーションの設定の優先順は次のとおりです(最も優先度が高くなります)。

電話番号ごとに指定した「電話帳便利機能」『基本編』のP.120

グループごとに指定した「グループ便利機能」

「着信音選択」、「着信イルミネーション」『基本編』のP.163、P.185

複数のSMSを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件で、着信音が鳴り、イルミネーションが点滅します。

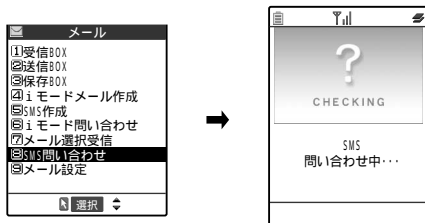
movasサービスのiモード端末からショートメールを受信した場合は、送信元の電話番号が表示されます。ただし、発信者番号が通知されないときは、通知されない理由(『基本編』のP.68)が表示されます。

## SMS問い合わせ

## センターに保管されているSMSを受信します

SMSセンターに届いたSMSは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないとき、「圏外」が表示されているとき、メモリがいっぱいのときなどで受信できないときはSMSセンターに保管されます。「SMS問い合わせ」を行って受信します。「圏外」が表示されているときは問い合わせできません。

## 1 [MAIL]▶「SMS問い合わせ」の順に選ぶ



「[MAIL]」は待受画面表示中に表示されます。


問い合わせ中は、「問い合わせ中…」と表示されます。問い合わせが終わると問い合わせを行ったというメッセージが表示されるので、[選択]を押します。

問い合わせを行った後、自動受信がすぐには始まらない場合があります。

問い合わせを中止する場合


[CLEAR]を1秒以上押す

問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりSMSを受信することがあります。

「」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールやSMSを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除(P.211)してください。読みだり、保護を解除したメールは、受信時に古いものから順に上書きされます。

SMS問い合わせ中にセンターで預かりしたSMSは、件数に反映されないことがあります。

## 受信したSMSを見ます

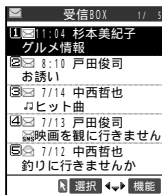
FOMA端末が圏内にあるときは、SMSセンターから自動的にSMSが送られてきます。SMSセンターからFOMA端末にSMSが届くと画面の上部に「」のアイコンが表示されます。


受信したSMSは、受信メール一覧画面の題名には本文の先頭が表示されます。

受信したSMS report(送達通知)の題名は「SMS report」と表示されます。

1

「」▶「受信BOX」▶「受信BOX」の順に選ぶ



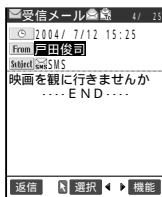
「」は待受画面表示中に表示されます。

追加したフォルダがある場合は、受信BOXフォルダ一覧画面でフォルダを選びます。


受信メール一覧画面が表示されます。

2


表示したいメールを選ぶ



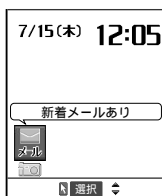
前後のメールを表示する場合


メール詳細画面でを押す

受信したSMSに表示できない文字が含まれている場合、その文字はスペースで表示されます。

を押すと、受信メール一覧画面に戻ります。


待受画面でメールを受信した場合



SMSやSMS reportを受信すると待受画面に「メール」が表示され、これを選ぶと「新着メールあり」と表示されます。ただし、受信BOX画面を表示しているときに受信した場合など、表示されないこともあります。このアイコンを選ぶと受信メール一覧画面が表示されます。

FOMA端末を閉じているときにSMSを受信すると、イルミネーション・ウィンドウにメールを受信したことを示すメッセージが表示されます。 P.182


表示したSMSの本文で反転している情報から、電話をかけたり新規iモードメールを作成するなどの操作が行えます。

表示したSMSの送信元の電話番号は反転表示されます。反転した状態で  [ 選択 ] を押し、表示されている電話番号に音声電話やテレビ電話をかけられます( Phone To機能 / AV Phone To機能 )。また、送信元の電話番号が電話帳に登録されているときは、登録されている「名前」が反転表示されます。この場合も同じ操作で電話をかけられます。

「SMS report設定」( P.228 )でSMS reportを要求するように設定した場合のみ、SMS reportが送られてきます。

受信メール一覧画面で機能メニューから「メール情報」を選ぶと、メールを開く前に送信元とSMSセンターに届いた日付・時刻を確認できます。

SMSの送信元の電話番号をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けられます。貼り付けたアイコンから、その電話番号を宛先とする新規SMSを作成できます。

ただし、「」のついた電話番号はデスクトップアイコンとして貼り付けられません。


## 受信したSMSに返信 / 転送します

SMSの送信元に返信 / 転送できます。

詳しい操作手順はiモードメールの返信( P.183 )、転送( P.185 )を参照してください( 題名の入力はできません )。

「ダイヤル発信制限」(『基本編』のP.205)を設定しているときは、返信できません。ただし、「ダイヤル発信制限」を設定していても、送信元の電話番号が電話帳に登録されている場合は返信することができます。

< 例 : SMSに返信する場合 >

1 返信するSMSの詳細画面を表示し、 [ 返信 ] を押し



2 本文を編集して送信する




これ以降の詳しい操作手順については、P.193を参照してください。

## おしらせ

SMSでは引用返信、参照返信はできません。

送信元が非通知設定 / 公衆電話 / 通知不可能のSMSには返信できません。

SMS reportは返信 / 転送することはできません。

FOMAカード内のSMSを返信 / 転送した場合、受信メール一覧画面、受信メール詳細画面で「」 / 「」のアイコンは表示されず「」のアイコンの表示のままとなります。

# 受信したメールをフォルダで管理します


受信したiモードメールおよびSMSは、フォルダに分けて管理できます。

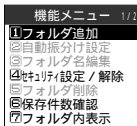
新しいフォルダは23個まで追加できます。


追加したフォルダに、受信したiモードメールやSMSが自動的に振り分けられるようにすることもできます。 P.203

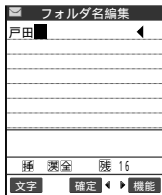
お買い上げのときにすでにある「受信BOX」、「ゴミ箱」フォルダは、削除やフォルダ名の変更はできません。

## フォルダを追加します

- 1  「受信BOX」の順に選んで、機能メニューから「フォルダ追加」を選ぶ



- 2 フォルダ名を入力して  「確定」を押す

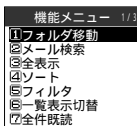


フォルダ名は全角で10文字まで、半角で20文字まで入力できます。フォルダ名が1文字も入力されていないときは、フォルダを追加できません。

## 別のフォルダに移動します

< 例：受信メールを選択して移動する場合 >

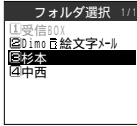
- 1 移動元のフォルダの受信メール一覧画面で機能メニューから「フォルダ移動」を選ぶ



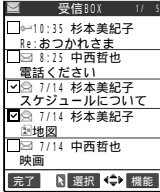
メールを1件移動する場合

受信メール詳細画面で移動するメールを表示し、機能メニューから「フォルダ移動」を選んで移動先のフォルダを選ぶ

## 2 移動先のフォルダを選ぶ



## 3 移動するメールを選ぶ




選択したメールがチェックされます。

チェックされたメールをもう一度選ぶと、選択を解除します。選択を全件解除する場合は、機能メニューから「全選択解除」を選びます。機能メニューから「全選択」を選ぶと、フォルダ内のすべてのメールを選択できます。

## 4 [完了]を押して「YES」を選ぶ

### おしらせ

移動するメールの選択中にメールを受信した場合、受信BOXがいっぱいの際は受信せずに「」が表示されます。メールの移動後、iモード問い合わせを行ってください。  
SMS reportとFOMAカード内のSMSは、別のフォルダに移動できません。

### フォルダ名を変更する

フォルダー一覧画面でフォルダを反転表示し、機能メニューから「フォルダ名編集」を選んで新しいフォルダ名を入力します。

フォルダ名は全角で10文字まで、半角で20文字まで入力できます。

名前を変更できるのは追加したフォルダのみです。お買い上げのときにすでにある受信BOX / ゴミ箱 / 送信BOXおよびメール連動型アプリのメールのフォルダの名前を変更することはできません。

### フォルダを削除する

フォルダー一覧画面でフォルダを反転表示し、機能メニューから「フォルダ削除」を選んで端末暗証番号(P.21)を入力します。

- ・お買い上げのときにすでにある受信BOX / ゴミ箱 / 送信BOXおよびメール連動型アプリのフォルダを削除することはできません。ただし、メール連動型アプリがFOMA本体から削除され、メール連動型アプリの送信 / 受信フォルダ両方に保護メールがない場合は、メール連動型アプリのフォルダを削除できます。メール連動型アプリを削除すると、メール連動型アプリのフォルダを削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、受信BOX、送信BOXのメール連動型アプリのフォルダが削除されます。
- ・フォルダ内にメールがあるフォルダを削除しようとした場合は、削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、フォルダ内のメールごと削除されます。フォルダ内のメールを削除しないで、フォルダだけを削除したいときは、フォルダを削除する前に、フォルダ内のメールを別のフォルダに移動してください。
- ・フォルダ内にメールがなく、かつ「自動振り分け設定」(下記)が設定されているフォルダを削除しようとした場合は、自動振り分け設定の設定を解除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと「自動振り分け設定」の設定が解除されてフォルダが削除されます。
- ・フォルダ内に保護されているメールがある場合は、フォルダを削除できません。

### フォルダにセキュリティをかける

フォルダごとにセキュリティをかけられます。セキュリティをかけたフォルダを開くには、端末暗証番号(P.21)を入力する必要があります。詳しくはP.219を参照してください。

## 自動振り分け設定

# 送受信したメールを自動的に振り分けます

送受信モードメールやSMSがどのフォルダに保存されるかを、送信元のメールアドレスや電話番号、題名、返信不可のメールなどによって自動的に振り分けられます。あらかじめフォルダごとに振り分ける条件を登録しておく、登録された相手からメールを受信したときに、メールが自動的にフォルダに振り分けられて保存されます。また、すべてのメールを指定したアプリのフォルダに振り分けることもできます。

自動振り分けをするメールアドレスや電話番号、電話帳のグループは、受信BOXと送信BOXの全フォルダ合わせて700件まで登録できます。1つのフォルダに複数のメールアドレスや電話番号、電話帳のグループを登録することもできます。題名はそれぞれのフォルダに1つのみ登録できます。

受信したメールが複数の振り分け条件に該当する場合、自動振り分け設定の優先順位は次のとおりです。が最も優先度が高くなります。ただし、メール連動型アプリのメールは自動振り分け設定にかかわらず専用のフォルダに振り分けられます。

全件振り分け	題名振り分け	返信不可振り分け
メールアドレス / 電話番号	電話帳グループ	

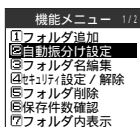
自動振り分け設定を設定する前に受信したメールは、設定前に保存されているフォルダに残ります。

## 振り分けるメールアドレスを登録します

受信メールのフォルダに、自動振り分けをするメールアドレスや電話番号を登録します。電話帳や送受信アドレス一覧を参照して登録することもできます。

<例：電話帳を参照して受信フォルダに登録する場合>

- 1 振り分け条件を登録する受信メールのフォルダを反転表示し、機能メニューから「自動振分け設定」を選ぶ



- 2 機能メニューから「アドレス振分け」-「アドレス参照入力」-「電話帳」を選んで電話帳を検索する

電話帳の検索について 『基本編』のP.116

- 3 検索した電話帳の詳細画面で登録するメールアドレスを選ぶ



選択したメールアドレスが自動振分け設定に登録されます。

登録済みのメールアドレスや電話番号を変更する場合

自動振分け設定画面で変更したいメールアドレスまたは電話番号を選ぶ

自動振分け設定画面の表示を切り替える場合

自動振分け設定画面の機能メニューから「一覧表示切替」-「名前表示」または「アドレス表示」を選ぶ

「名前表示」を選んだ場合、電話帳に名前が登録されている受信アドレスは、名前が表示されます。また、**(#押)**を押して「名前表示」と「アドレス表示」を切り替えることもできます。

P.150



## お知らせ

メールアドレスは、ドメイン名まで正しく登録してください。ドメイン名とは、メールアドレスの@(アットマーク)より後の文字です。

(例) docomo.taro. @docomo.ne.jp

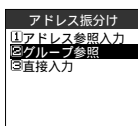
ドメイン名まで正しく登録しないと本機能が利用できませんのでご注意ください。

SMS report、FOMAカードに保存指定されているSMSは、自動振り分けできません。

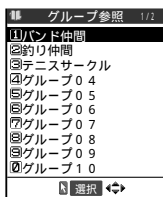
## 振り分けるグループを登録します

電話帳に登録されているグループを自動振り分け設定に登録できます。

- 1 振り分けを条件登録する受信メールのフォルダを反転表示し、機能メニューから「自動振り分け設定」-「アドレス振り分け」-「グループ参照」を選ぶ



- 2 登録するグループを選ぶ



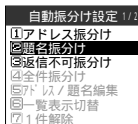
選択したグループが自動振り分け設定に登録され、グループ名に「GR」が表示されます。

グループ00は選べません。また、すでに登録済みのグループは登録できません。

## 振り分ける題名を登録します

受信メールのフォルダに、自動振り分けをする題名を登録します。登録した題名を含むメールを受信すると、登録したフォルダに自動的に振り分けられます。

- 1 振り分け条件を登録する受信メールのフォルダを反転表示し、機能メニューから「自動振り分け設定」-「題名振り分け」を選ぶ



## 2 登録する題名を入力して [ 確定 ] を押す

入力した題名が自動振り分け設定に登録されます。

文頭または文中にはスペースを入力できます。文末のスペースは削除されます。

同じ題名は複数のフォルダに設定できません。また、題名にスペースだけの入力はできません。

### おしらせ

自動振り分け設定に「無題」に登録した場合、題名に「無題」と入力されたメールは振り分けられませんが、題名が未入力で「無題」と表示されるメールは振り分けられません。

受信したメールの題名が複数のフォルダの振り分け条件に登録している題名に含まれている場合、受信フォルダ一覧で表示されるフォルダ順にメールが振り分けられます。

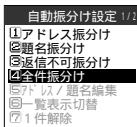
SMSは題名での振り分けを行いません。

## ● メール連動型iアプリのフォルダにすべてのメールを振り分けます

iアプリフォルダにすべてのメールを振り分けます。

メールを送信または受信すると、「全件振り分け」を設定したiアプリフォルダに送信メールまたは受信メールがすべて保存され、メール連動型iアプリを起動してメールを確認できます。

### 1 振り分け条件を登録するメールのフォルダを反転表示し、機能メニューから「自動振り分け設定」-「全件振り分け」を選ぶ




振り分けたメールはiアプリでの利用になることを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと「全件振り分け」が登録されます。

iアプリフォルダがない場合は、「全件振り分け」は登録できません。

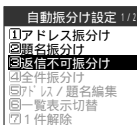
「全件振り分け」は、受信BOX、送信BOXでそれぞれ1つのiアプリフォルダにだけ設定できます。

「全件振り分け」を登録しても、ほかのフォルダに設定した振り分け条件はそのまま残りますが、ほかのメール連動型iアプリのメール以外のすべてのメールは「全件振り分け」を登録したフォルダに保存されます。

## ● 返信不可のメールを振り分けます

iモードメールまたはSMSの返信不可の  が表示されるメールが振り分けられます。

### 1 振り分け条件を登録する受信メールのフォルダを反転表示し、機能メニューから「自動振り分け設定」-「返信不可振り分け」を選ぶ



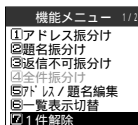
「返信不可振り分け」は、受信BOX内の1つのフォルダにだけ設定できません。

## 登録したメールアドレスなどを解除します

「自動振分け設定」に登録されているメールアドレス、電話番号、題名などの振り分け条件を解除します。

< 例：メールアドレスを1件解除する場合 >

### 1 自動振分け設定画面で解除するメールアドレスを選び、機能メニューから「1件解除」を選んで「YES」を選ぶ



1件解除：振り分け条件を1件解除します。

選択解除：メールアドレスや電話番号、電話帳のグループの振り分け条件をチェックボックスで選んで解除します。

全解除：すべての振り分け条件を解除します。

# メールの並び順を変更します

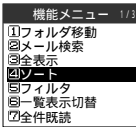
指定した条件に従って、表示されるメールの順番を並べ替えられます。  
メールで利用できるソート表示には次のものがあります。

ソート表示方法	ソート機能により表示される順
新しい順	日付の新しい順に表示します。
古い順	日付の古い順に表示します。
アドレス順(昇順)	送信元や宛先のメールアドレスや電話番号の昇順に表示します。
アドレス順(降順)	送信元や宛先のメールアドレスや電話番号の降順に表示します。
題名順(昇順)	題名の昇順に表示します。
題名順(降順)	題名の降順に表示します。

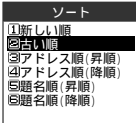
ソート表示でメールの表示方法を変更しても、その画面を終了し再度一覧画面を表示すると、元の一覧画面表示(新しい順の全表示)に戻ります。

<例：受信したメールを古い順に表示する場合>

## 1 受信メール一覧画面で機能メニューから「ソート」を選ぶ



## 2 設定したいソート表示方法を選ぶ



ソート表示を解除する場合

機能メニューから「全表示」を選ぶ

すべてのメールが新しい順に表示されます。

### お知らせ

iモードメールとSMSは共通の受信BOX、送信BOXに入っています。ソート表示で指定した表示の条件は、iモードメールとSMSの両方に適用されます。

ソート表示とフィルタ機能を併用できます。例えば受信メール一覧で未読メールのみ古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選んだ後、フィルタメニューの「未読のみ」を選びます。

## 読みたいメールを検索します

受信したメールを検索して、読みたいメールだけを表示します。

メールを検索する方法は、メールの種類で検索する方法と、アドレスや題名で検索する方法の2種類があります。

## メールの種別ごとに検索します

&lt;フィルタ機能&gt;

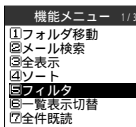
メールで利用できるフィルタ機能には次のものがあります。

フィルタ機能の種類	フィルタ機能により表示されるメール	利用できるBOX
未読のみ	未読のiモードメールやSMS	受信BOX
既読のみ	既読のiモードメールやSMS	受信BOX
保護のみ	保護されているiモードメールやSMS	受信BOX / 送信BOX
メロディのみ	メロディが添付または貼り付けられているiモードメール	受信BOX / 送信BOX
画像のみ	画像が添付されているiモードメール	受信BOX / 送信BOX
iモーションのみ	動画やiモーションが添付されているiモードメール(動画やiモーションのデータを取得する前のiモーションメールを含む)	受信BOX / 送信BOX
iアプリのみ	iアプリの起動情報(iアプリTo)が貼り付けられているiモードメール(メール連動型iアプリを利用して受信したメールは含まれない)	受信BOX
SMSのみ	SMS	受信BOX / 送信BOX
送信失敗のみ	送信に失敗したiモードメールおよびSMS	送信BOX

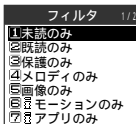
フィルタ機能とメールアドレスまたは題名でのメールの検索は、合わせて3回まで連続して検索できます。

<例：未読のメールを表示する場合>

## 1 受信メール一覧画面で機能メニューから「フィルタ」を選ぶ



## 2 設定したいフィルタ機能を選ぶ




フィルタ機能を解除する場合

機能メニューから「全表示」を選ぶ

すべてのメールが新しい順に表示されます。

## お知らせ

iモードメールとSMSは共通の受信BOX、送信BOXに入っています。フィルタ機能で指定した表示の条件は、iモードメールとSMSの両方に適用されます。

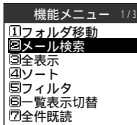
FOMAカードによって表示・再生が制限されていることを示す「」のアイコンが表示されているデータが添付されているメールは、「メロディのみ」「画像のみ」「iモードのみ」でフィルタ機能を実行しても表示されません。

フィルタ機能とソート表示を併用できます。例えば受信メール一覧で未読メールのみ古い順に表示させたいときは、フィルタメニューの「未読のみ」を選んだ後、ソートメニューの「古い順」を選びます。

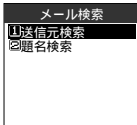
## メールのアドレスまたは題名で検索します

送信元のアドレスや題名で、読みたいメールを検索して表示できます。

### 1 受信メール一覧画面で機能メニューから「メール検索」を選ぶ



### 2 検索する方法を選ぶ



#### 送信元のアドレスで検索する場合

「送信元検索」を選んでアドレスの検索方法を選ぶ

アドレスを直接入力して検索する場合は「直接入力」を選びます。

電話帳の検索について 『基本編』のP.116

アドレス一覧から入力するには P.157

#### 題名で検索する場合

「題名検索」を選んで検索する題名を入力する

題名の一部を入力しても検索できます。

題名の検索時に文頭または文中にはスペースを入力できます。文末のスペースは削除されます。

検索結果が一覧表示されます。

検索条件を満たす題名がないときは、データがないことを通知するメッセージが表示されます。

## お知らせ

題名の検索時に「無題」を入力した場合、題名に「無題」と入力されたメールは検索されますが、題名が未入力で「無題」と表示されるメールは検索されません。

SMS は題名で検索できません。

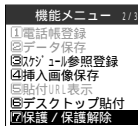
# メールを保護します




大切なメールは削除や上書きされないように保護できます。

受信メールは最大500件、送信メールは最大200件まで(いずれもiモードメールとSMSの合計)保護できます。保護できる最大件数は、メールのデータ量により変動します。

<例：受信したiモードメールを保護(または保護解除)する場合>

## 1 保護したいメールの詳細画面で機能メニューから「保護 / 保護解除」を選ぶ



保護されていないものは保護され(画面右上に「」「」「」が表示)、保護されているものは保護解除されます。

受信メール一覧画面、送信メール一覧画面、送信メール詳細画面で機能メニューから「保護 / 保護解除」を選んで保護 / 保護解除ができます。

メール保護をすべて解除する場合

受信メール一覧画面または送信メール一覧画面で機能メニューから「保護全解除」を選んで「YES」を選ぶ

### お知らせ

FOMA端末に保存されている受信メール(iモードメールとSMSの合計)が最大保存件数(P.21)を超えた場合、メール受信時にゴミ箱のメールが優先的に削除されます。ゴミ箱にメールがない場合は、保護されていない既読の受信メールのうちから古い順に削除されます。

FOMA端末に保存されている送信メール(iモードメールとSMSの合計)が最大保存件数(P.21)を超えた場合、保護されていない送信メールのうちから古い順に削除されます。

# メールを削除します

FOMA端末で送受信したメールや未送信のメールを削除します。  
メールの削除方法は次のとおりです。

削除の種類	説明	利用できる画面
1件削除 / 削除	1件のiモードメールまたはSMSを削除します。	受信 / 送信 / 保存メール一覧画面
		受信 / 送信メールの詳細画面
選択削除	削除するiモードメールやSMSを一覧から選んで削除します。	受信 / 送信 / 保存メール一覧画面
既読削除	フォルダ内の、すでに読んだiモードメールやSMSをまとめて削除します。	受信メール一覧画面
ゴミ箱へ捨てる	iモードメールまたはSMSをゴミ箱へ捨てます。	受信メール一覧画面 / 受信メール詳細画面
SMS report全削除	受信BOX内のSMS reportをすべて削除します。	受信BOXフォルダ内の受信メール一覧画面
全削除	フォルダ内のiモードメールやSMSをすべて削除します。	受信メール / 送信メール一覧画面
	保存BOX内のiモードメールやSMSをすべて削除します。	保存メール一覧画面
既読メール全削除	すべてのフォルダのすでに読んだiモードメールやSMSをまとめて削除します。	受信フォルダ一覧画面
受信メール全削除	受信BOXの全フォルダ内のiモードメールやSMSをすべて削除します。	受信フォルダ一覧画面
送信メール全削除	送信BOXの全フォルダ内のiモードメールやSMSをすべて削除します。	送信フォルダ一覧画面

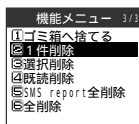
## メールを1件削除します

iモードメールまたはSMSを1件選んで削除します。

保護されているメールは削除できません。

<例：受信したiモードメールを1件削除する場合>

- 1 受信メール一覧画面で削除するメールを反転表示し、機能メニューから「1件削除」を選んで「YES」を選ぶ



送信メール一覧画面、保存メール一覧画面で機能メニューから「1件削除」を選んで削除することもできます。

メール詳細画面から1件削除する場合

機能メニューから「削除」を選ぶ



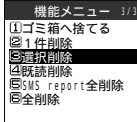
## メールを選んで削除します

削除したいメールを選んで削除します。複数のiモードメールやSMSを選んで削除できます。

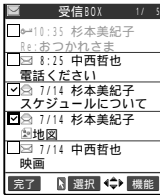
保護されているメールを選ぶことができません。

<例：受信したiモードメールを選んで削除する場合>

### 1 受信メール一覧画面で機能メニューから「選択削除」を選ぶ



### 2 削除するメールを選ぶ




選択したメールがチェックされます。

チェックされたメールをもう一度選ぶと、選択を解除します。選択を全件解除する場合は、機能メニューから「全選択解除」を選びます。機能メニューから「全選択」を選ぶと、フォルダ内のすべてのメールを選択できます。

送信メール一覧画面、保存メール一覧画面で機能メニューから「選択削除」を選んで削除することもできます。

### 3 [完了]を押して「YES」を選ぶ

#### おしらせ

削除するメールの選択中にメールを受信した場合、受信BOXがいっぱいのときは受信せずに「」が表示されます。メールの削除後、iモード問い合わせを行ってください。

#### メールをゴミ箱に捨てる

削除したいメールをゴミ箱に捨てます。ゴミ箱に捨てたメールはすぐには削除されず、削除されるまではゴミ箱からフォルダに戻すことができます。

ゴミ箱に捨てられたメールは、受信BOXがいっぱいになった場合、優先的に削除されます。受信メール一覧画面で機能メニューから「ゴミ箱へ捨てる」を選ぶと、「選択削除」と同じ方法でメールを選んでゴミ箱に捨てます。ゴミ箱に捨てるメールを選ぶと、メール受信時に優先的に自動削除されることを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選ぶとメールがゴミ箱に捨てられます。

## メールをまとめて削除します

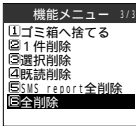
フォルダ内のすでに読んだメールをすべて削除したり、フォルダ内のすべてのメールをまとめて削除できます。また、SMS reportだけをまとめて削除することもできます。

フォルダ内のメールがすべて削除されても、フォルダは削除されません。フォルダを削除したいときはP.203を参照してください。

保護されているメールは削除できません。

<例：受信BOXフォルダ内のSMSとiモードメールをすべて削除する場合>

### 1 受信メール一覧画面で機能メニューから「全削除」を選び、端末暗証番号を入力して「YES」を選ぶ



端末暗証番号について P.21

保存メール一覧画面で機能メニューから「全削除」を選んで削除することもできます。

フォルダ内のすでに読んだメールを削除する場合

機能メニューから「既読削除」を選んで「YES」を選ぶ

受信BOXのSMS reportのみをすべて削除する場合

機能メニューから「SMS report全削除」を選んで端末暗証番号を入力し、「YES」を選ぶ

受信メールまたは送信メールをすべて削除する場合

受信フォルダ一覧画面または送信フォルダ一覧画面で機能メニューから「受信メール全削除」または「送信メール全削除」を選んで端末暗証番号を入力し、「YES」を選ぶ

すべてのフォルダの受信メールまたは送信メールが削除されます。

既読メールをすべて削除する場合

受信フォルダ一覧画面で機能メニューから「既読メール全削除」を選んで「YES」を選ぶ

フィルタ機能で指定したメールのみを表示しているときに「既読削除」や「全削除」を行うと、表示されているメールのみ削除されます。

# SMSをFOMAカードに保存します

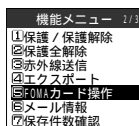
FOMA端末(本体)に保存されているSMSを、FOMAカードに移動したり、コピーして保存できます。また、FOMAカードに保存されているSMSを本体に移動またはコピーできます。

FOMAカードには、受信SMSと送信SMSを合計20件まで保存することができます。

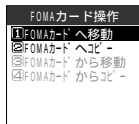
## SMSをFOMAカードに移動またはコピーします

<例：受信フォルダ内のSMSをFOMAカードに移動する場合>

- 1 受信メール一覧画面でFOMAカードに移動するメールを反転表示し、機能メニューから「FOMAカード操作」を選ぶ



- 2 操作内容を選んで「YES」を選ぶ



FOMAカードへ移動 : FOMA端末(本体)のSMSをFOMAカードへ移動します。




FOMAカードへコピー : FOMA端末(本体)のSMSをFOMAカードへコピーします。

受信SMSをFOMAカードに移動またはコピーすると、移動またはコピーしたSMSは受信BOXフォルダ内に表示されます。

送信メール一覧画面、送信メール詳細画面、受信メール詳細画面で機能メニューから「FOMAカード操作」を選んでも移動またはコピーできます。

## お知らせ




電池パックを外すと、FOMAカード内の送信SMSの日付・時刻が消去され、一覧の最後に表示されます。ただし、SMS reportと一緒に保存されている送信SMSの場合、日付・時刻は消去されません。

返信 / 転送したSMSをFOMAカードへ移動またはコピーすると、「」や「」のアイコンが「」のアイコンに変わります。

FOMAカードへ移動またはコピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードに移動またはコピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。

送信したSMSのSMS reportがある場合、SMSと送信したSMSに含まれているSMS reportは一緒にFOMAカードに移動またはコピーされます。

受信BOX内のSMS reportはFOMAカードへ移動またはコピーできません。

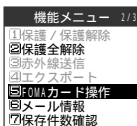
FOMAカード内にすでにSMSを20件保存しているときは、画面上部に「」または「」、「」のアイコンが表示され、FOMAカードへの移動またはコピーはできません。

アクセサリの「FOMAカード操作」(『基本編』のP.130)を利用してコピーすることもできます。

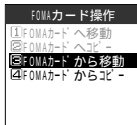
## FOMAカード内のSMSをFOMA端末(本体)に移動またはコピーします

<例：FOMAカード内のSMSを受信フォルダに移動する場合>

### 1 受信メール一覧画面でFOMA端末(本体)に移動するメールを反転表示し、機能メニューから「FOMAカード操作」を選ぶ



### 2 操作内容を選んで「YES」を選ぶ



FOMAカードから移動 : FOMAカードのSMSをFOMA端末(本体)へ移動します。

FOMAカードからコピー : FOMAカードのSMSをFOMA端末(本体)へコピーします。

送信メール一覧画面、送信メール詳細画面、受信メール詳細画面で機能メニューから「FOMAカード操作」を選んでも移動またはコピーできます。

## お知らせ

送信したSMSのSMS reportがある場合、SMSと送信したSMSに含まれているSMS reportは一緒にFOMA端末(本体)に移動またはコピーされます。

FOMA端末(本体)の、受信メールや送信メールの最大保存件数(P.21)を超える場合、FOMA端末(本体)への移動またはコピーはできません。

アクセサリの「FOMAカード操作」(『基本編』のP.130)を利用してコピーすることもできます。


# 便利な機能

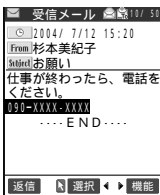
## Phone To・Mail To・Web To 機能を使います

メール本文の電話番号やメールアドレス、URLやiアプリへのリンクを選ぶと、電話をかけたり、サイトに接続したり、ソフトを実行できます。メール本文から選べる項目と行える内容は次のとおりです。

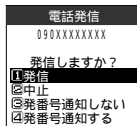
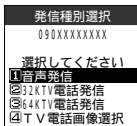
項目	内容
電話番号	選択した電話番号へ電話またはテレビ電話をかける(Phone To、AV Phone To)
メールアドレス	選択したメールアドレスを宛先に新規メールを作成する(Mail To)
URL	選択したURLのサイトに接続する(Web To)
iアプリへのリンク	指定したソフトを起動する(iアプリTo)

<例：メール本文の電話番号に音声電話をかける場合>

- 1 本文に電話番号があるメールの詳細画面を表示し、表示されている電話番号を反転表示して、[選択]を押す



- 2 「音声発信」-「発信」を選ぶ



選択した電話番号に電話をかけます。電話をかける操作については『基本編』のP.70をご覧ください。

テレビ電話をかける場合

「32KTV電話発信」または「64KTV電話発信」を選ぶ

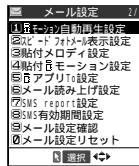
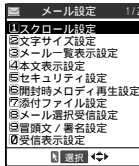
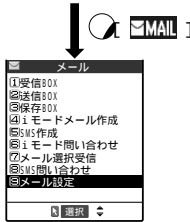
### おしらせ

パソコンなどから送られたHTML形式のメールでは、Phone To、AV Phone To、Mail To、Web To機能が利用できない場合があります。

# メール設定機能一覧

メール設定機能の画面および設定一覧を示します。

< 待受画面 >



## メール設定 1 / 2

- ①スクロール設定.....メール詳細画面のスクロール行数を設定します。 P.227
- ②文字サイズ設定.....メール詳細画面で表示する文字のサイズを設定します。 P.226
- ③メール一覧表示設定.....メール一覧画面を名前またはメールアドレスのいずれかかと題名の2行で表示するが、名前、メールアドレス、題名のいずれかの1行で表示するかを設定します。 P.228
- ④本文表示設定.....メールを先頭(受信日時表示)から表示するか本文から表示するかを設定します。 P.227
- ⑤セキュリティ設定.....他人にメールを見られないようにメールBOXにセキュリティをかけます。 P.225
- ⑥開封時メロディ再生設定.....受信メールを開いたときにメロディを自動再生するかどうかを設定します。 P.234
- ⑦添付ファイル設定.....添付ファイルを受信するかどうかを設定します。 P.236
- ⑧メール選択受信設定.....メール選択受信を行うかどうかを設定します。 P.230
- ⑨冒頭文 / 署名設定.....冒頭文 / 署名を登録し、自動貼付を設定します。また、引用符を変更します。 P.228
- ⑩受信表示設定.....メールを自動受信したとき、受信中画面と受信結果画面を表示するかどうかを設定します。 P.230


## メール設定 2 / 2

- ①iモーション自動再生設定.....取り込んだiモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。 P.236
- ②スピードフォトメール表示設定.....スピードフォトメールを受信した場合に、自動表示するかどうかを設定します。 P.240
- ③貼付メロディ設定.....メール本文に貼り付けられたメロディの再生 / 保存を可とするかどうかを設定します。 P.234
- ④貼付iモーション設定.....iモードメールの本文からiモーションを取り込めるようにするかどうかを設定します。 P.229
- ⑤iアプリTo設定.....iモードメールの本文から、iアプリを起動できるようにするかどうかを設定します。 P.235
- ⑥メール読み上げ設定.....メールを読み上げる声を設定します。 P.244
- ⑦SMS report設定.....SMS report (送達通知)を要求するかどうかを設定します。 P.241
- ⑧SMS有効期間設定.....SMSがSMSセンターに保存される期間を設定します。 P.242
- ⑨メール設定確認.....メール設定の設定内容を確認します。 P.243
- ⑩メール設定リセット.....メール設定の設定内容をお買い上げのときの状態に戻します。 P.244

## ほかの人にメールを見られないようにします

お買い上げ時 セキュリティなし

ほかの人にメールの内容を無断で見られないように受信BOX、送信BOX、保存BOXにセキュリティをかけます。セキュリティをかけたBOXは、端末暗証番号を入力しないと開けなくなります。

セキュリティをかけたBOXには、「」のアイコンが表示されます。

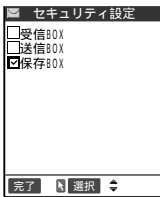
送信BOX、受信BOXにセキュリティを設定すると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

## BOXごとにセキュリティをかけます

- 1 「メール設定」▶「セキュリティ設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する


端末暗証番号について P.21

- 2 セキュリティをかけたいBOXを選ぶ





選択したBOXがチェックされます。

チェックされたBOXをもう一度選ぶと、選択を解除します。

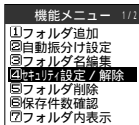
- 3 設定が終わったら  [完了] を押す

## フォルダごとにセキュリティをかけます

フォルダごとにセキュリティをかけられます。セキュリティをかけたフォルダは、端末暗証番号を入力しないと開けないようになります。

セキュリティをかけたフォルダは、フォルダ一覧画面で先頭に表示されるアイコンが「」、「」などの表示になります。

# 1 フォルダー一覧画面でセキュリティをかけるフォルダを反転表示し、機能メニューから「セキュリティ設定 / 解除」を選ぶ



## 2 端末暗証番号を入力して「YES」を選ぶ

端末暗証番号について P.21

すでにセキュリティがかかっているフォルダを選んだ場合

セキュリティを解除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶとセキュリティが解除されます。

### お知らせ

BOX全体にセキュリティをかけた場合、BOXを開くときに端末暗証番号の入力が必要になります。BOX内のセキュリティをかけたフォルダを開くときに再度、端末暗証番号を入力する必要はありません。

セキュリティのかかったBOXやフォルダをいったん開くと、メール機能を終了するまで、セキュリティがかかった他のBOXやフォルダを端末暗証番号の入力をしないで開くことができます。

## メール画面表示の設定をします

メール画面を使いやすいように設定します。

メールの画面設定は次の4種類があります。

項目	説明
文字サイズ設定	メール詳細画面で表示する文字のサイズを設定する
スクロール設定	メール詳細画面のスクロール行数を設定する
本文表示設定	メールを先頭(受信日時表示)から表示するか本文から表示するかを設定する
メール一覧表示設定	メール一覧画面を名前またはメールアドレスのいずれかと題名の2行で表示するか、名前、メールアドレス、題名のいずれかの1行で表示するかを設定する

### 表示される文字のサイズを設定します

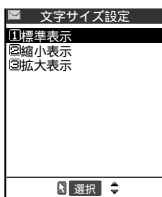
お買い上げ時 標準表示

メール詳細画面のメール本文の文字の大きさを選びます。

1  「メール設定」▶「文字サイズ設定」の順に選ぶ



## 2 文字サイズを選んで●[選択]を押す



標準表示：標準の文字サイズで表示されます。

縮小表示：文字サイズが縮小されます。

拡大表示：文字サイズが拡大されます。

メール詳細画面で○または○を1秒以上押して文字サイズを切り替えることもできます。

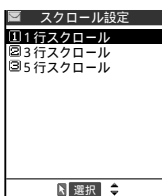
また、メール詳細画面で機能メニューから「文字サイズ設定」を選んで文字サイズを切り替えられます。いずれの方法で切り替えた場合でも、この設定は変更されません。

## スクロール行数を設定します

お買い上げ時 1行スクロール

メール詳細画面で○を押したときに、画面が何行分送られて(スクロールされて)表示されるかを選びます。

### 1 ○[MAIL]▶「メール設定」▶「スクロール設定」の順に選んで、スクロール行数を選ぶ



1行スクロール：1行単位でスクロールされます。

3行スクロール：3行単位でスクロールされます。

5行スクロール：5行単位でスクロールされます。

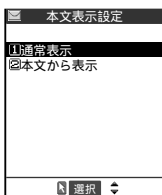
スクロール行数は、メール詳細画面で機能メニューから、「スクロール設定」を選んで設定できます。この場合、この設定も変更されません。

## メールを本文から表示します

お買い上げ時 通常表示

メールを開いたときに、先頭(受信日時/送信日時)から表示するか、メールの本文から表示するかを設定します。

### 1 ○[MAIL]▶「メール設定」▶「本文表示設定」の順に選んで、表示方法を選ぶ



通常表示：メールの先頭(受信日時/送信日時)から表示します。

本文から表示：メールの本文から表示します。

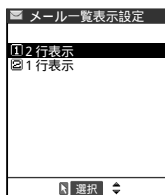
メールの本文が1ページ以内に表示できる場合は、「本文から表示」を設定しても、メールの先頭の全部または一部と本文が表示されます。

## 一覧画面の表示について設定します

お買い上げ時 2行表示

メールの一覧画面を2行表示、または1行表示に切り替えられます。

1  [MAIL] ▶ 「メール設定」▶ 「メール一覧表示設定」を選ぶ



2行表示：メール一覧画面を2行表示に設定します。

1行表示：メール一覧画面を1行表示に設定します。

## 冒頭文 / 署名設定

# 冒頭文 / 署名 / 引用符を登録します

お買い上げ時 冒頭文 / 署名 (未登録) : 自動貼付する 引用符 :

本文の先頭に書く文章(冒頭文)や、本文の最後に書く自分の名前など(署名)をあらかじめ登録しておく、簡単な操作でiモードメールの本文に貼り付けることができます。また、受信メールを引用返信するとき引用するメールの本文の先頭に付ける記号や文章(引用符)を編集することもできます。引用符は作成した本文と引用した本文を区別するために使用します。

登録できる冒頭文 / 署名はそれぞれ1件のみです。

SMSでは冒頭文 / 署名 / 引用符を利用できません。

1  [MAIL] ▶ 「メール設定」▶ 「冒頭文 / 署名設定」の順に選ぶ



冒頭文、署名、引用符は、それぞれの欄に入力します。

## 2 冒頭文または署名の「自動貼付」をチェックして冒頭文または署名の入力欄を選び、冒頭文または署名を入力して [確定] を押す

冒頭文編集画面の場合

冒頭文、署名は全角で120文字、半角で240文字分まで入力できます。

改行は全角1文字分としてカウントされます。

冒頭文または署名を自動貼付させない場合

冒頭文または署名のチェックをはずす

## 3 引用符の入力欄を選び、変更する引用符を入力して [確定] を押す

引用符は全角で10文字、半角で20文字分まで入力できます。

## 4 [完了] を押す

### おしらせ

冒頭文 / 署名 / 引用符の文字数は、メール本文の入力可能文字数に含まれます。

「冒頭文貼付」を行った場合、冒頭文は装飾なしの状態です。そのため、背景色によっては冒頭文が見えなくなることがあります。また、「署名貼付」を行った場合、署名は本文末の文字色、文字サイズの装飾を引き継いだ状態で貼り付けられます。

SMSでは冒頭文 / 署名 / 引用符を利用できません。

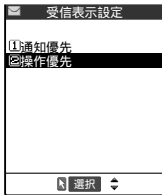
# 操作中のメール受信を通知します

お買い上げ時 操作優先

FOMA端末の操作中にメールやメッセージリクエスト/フリーを受信したとき、受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

1  「メール設定」▶「受信表示設定」の順に選ぶ




2 優先する表示を選ぶ



通知優先：FOMA端末の操作中にメールやメッセージリクエスト/フリーを受信したときに、受信中画面および受信結果を表示します。

操作優先：FOMA端末の操作中にメールやメッセージリクエスト/フリーを受信したときに、受信中画面および受信結果画面を表示せず、操作中の画面を表示したままにします。

## お知らせ

「操作優先」に設定し、端末の操作中にメールやメッセージリクエスト/フリーを受信したときは、イルミネーション・ウィンドウの新着メール表示および、ディスプレイの「」「」「」の表示でメールやメッセージリクエスト/フリーの受信を知らせます。着信音、LED点灯、パイブレータ、バックライトの点灯は行ないません。

iアプリ、ムービープレーヤー、キャラ電プレーヤー、カメラなどの機能を利用しているときは、「通知優先」に設定していても、メールやメッセージリクエスト/フリーを受信したときに、受信中画面および受信結果画面は表示されません。

# iモードメールの設定をします

iモードメールの受信方法や、受信メールに添付または貼り付けられたデータの設定を行います。

## iモードメールの選択受信について設定します

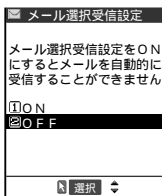
お買い上げ時 OFF

メールの選択受信を行うかどうかを選びます。選択受信を行わない場合は、メールを自動受信します。

この設定はiモードメールにのみ適用されます。SMSとメッセージリクエスト/フリーは、この設定にかかわらず自動受信します。

# 1 「メール設定」▶「メール選択受信設定」の順に選ぶ

## 2 メールを選択受信するかどうかを選んで [選択] を押す



メールを自動受信する場合

「OFF」を選ぶ

メールを選択受信する場合

「ON」を選ぶ

### おしらせ

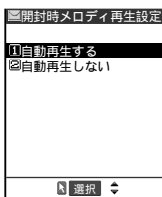
「ON」に設定しても、「iモード問い合わせ」を利用するとiモードメールを受信します。  
「iモード問い合わせ」利用時にiモードメールを受信したくない場合には、「iモード問い合わせ設定」(P.127)で「メール」を「問い合わせしない」に設定してください。

## iモードメールを開いたときのメロディについて設定します

お買い上げ時 自動再生する

受信したiモードメールを開いたときに、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。

# 1 「メール設定」▶「開封時メロディ再生設定」の順に選ぶ




自動再生する : iモードメールを開いたときにメロディを自動再生します。

自動再生しない : iモードメールを開いたときにメロディを自動再生しません。

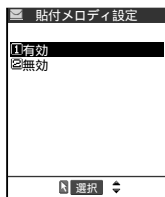
## iモードメールに貼り付けられたメロディについて設定します

お買い上げ時 有効

メール本文に貼り付けられたメロディの再生や保存ができるようにするかどうかを設定します。




iモードメールに貼り付けられたメロディ(メール詳細画面で )のアイコンのついているメロディ)についてのみ適用されます。iモードメールに添付されたメロディには適用されません。

# 1 [MAIL] ▶ 「メール設定」▶ 「貼付メロディ設定」の順に選ぶ



有効：メロディの再生、保存を可能にします。

無効：メロディの再生、保存は行えず、メロディは本文内にテキストとして表示されます。

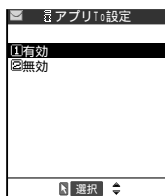
「無効」に設定すると、「」のアイコンがメール一覧画面では「」または「」のアイコンに変わります。メール詳細画面では文字列の表示に変わります。

## ● iモードメールからのiアプリの起動について設定します

お買い上げ時 有効



iモードメールから、iアプリを起動できるようにするかどうかを設定します。

# 1 [MAIL] ▶ 「メール設定」▶ 「iアプリTo設定」の順に選ぶ



有効：iアプリを起動できます。

無効：iアプリを起動できません。

「無効」に設定すると、「」のアイコンがメール一覧画面では「」のアイコンに変わります。メール詳細画面では表示されず、iアプリが起動できなくなります。

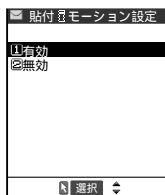
## ● iモードメールからのiモーションの取り込みについて設定します

お買い上げ時 有効

iモードメールの本文に貼り付けられたiモーションを取り込めるようにするかどうかを設定します。



この設定は、センターからデータを取得する前のiモーションメールについての設定です。すでにデータ取得済みのiモーションメールには適用されません。

# 1 [MAIL] ▶ 「メール設定」▶ 「貼付iモーション設定」の順に選ぶ



有効：iモーションを取り込みます。

無効：iモーションを取り込みません。

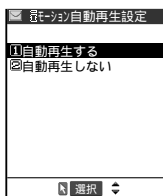
「無効」に設定すると、「」のアイコンがついているiモーションがメール一覧画面では「」のアイコンに変わります。メール詳細画面では表示されず、いずれの場合も、iモーションを取得できなくなります。

## iモーションを自動で再生しないようにします

お買い上げ時 自動再生する

受信メール画面からiモーションを取り込んだときに、iモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。

### 1 「メール設定」▶「iモーション自動再生設定」の順に選ぶ



自動再生する : iモーションを取り込み中または取り込んだ後、自動再生します。

「自動再生する」に設定した場合、iモーションによっては取り込み中に自動的に再生が始まります。再生が終了するとiモーション取得完了の画面が表示されます。

自動再生しない : iモーションを取り込んだ後、自動再生しません。「自動再生しない」に設定すると、iモーションを取り込んだ後、自動再生を行わず、iモーション取得完了の画面を表示します。

## 添付ファイルを受信しないようにします

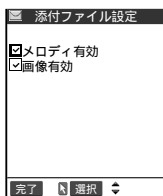
お買い上げ時 メロディを受信する  
画像を受信する

iモードメールに添付されたファイルを受信するかどうかを設定します。

「受信しない」に設定した場合、添付ファイルはiモードセンターで削除されます。削除されたことは通知されませんのでご注意ください。

この設定は添付されたメロディ、画像にのみ適用されます。本文に貼り付けられたメロディはこの設定にかかわらず受信します。

### 1 「メール設定」▶「添付ファイル設定」の順に選ぶ



「メロディ有効」、「画像有効」それぞれについて、受信するかどうかを設定します。

### 2 受信する添付ファイルをチェックして 「完了」を押す

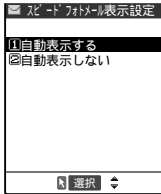
## スピードフォトメールを受信したときの表示について設定します

お買い上げ時 | 自動表示する

音声通話中にスピードフォトメールを受信したとき、写真(静止画)を自動で表示するかどうかを選びます。

1  [MAIL] ▶ 「メール設定」▶ 「スピードフォトメール表示設定」の順に選ぶ

2 設定する項目を選ぶ



自動表示する : スピードフォトメールを受信したときに自動で静止画を表示します。

自動表示しない : スピードフォトメールを受信したときに自動で静止画を表示しません。

「自動表示しない」に設定し、スピードフォトメールを受信したときは、静止画が添付されたメールの受信になります。静止画を表示するには、受信したメールを表示します。

## SMSの設定をします

SMSの送達通知の配信要求とSMSの有効期間について設定します。

SMS reportを要求するようにします

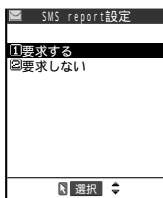
お買い上げ時 | 要求しない

SMSを送信したときに、SMS report(送達通知)を要求するかどうかを設定します。

1  [MAIL] ▶ 「メール設定」▶ 「SMS report設定」の順に選ぶ



## 2 「要求する」を選ぶ



要求する : SMSの送信後にSMS reportが届きます。  
要求しない : SMSを送信してもSMS reportは届きません。

### お知らせ

SMS reportの要求は、SMS作成時の新規SMS画面の「機能メニュー」から「SMS report設定」を選んで設定できます。この場合、設定内容は作成している新規SMSに対してのみ有効となり、この設定は変更されません。

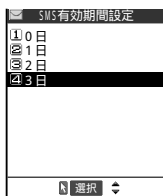
## SMSの有効期間を設定します

お買い上げ時 3日

送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を設定します。

1  [MAIL] ▶ 「メール設定」▶ 「SMS有効期間設定」の順に選ぶ

## 2 SMSセンターに保管される期間を選ぶ



### お知らせ

SMSの有効期間は、SMS作成時の新規SMS画面の機能メニューから「SMS有効期間設定」を選んで設定できます。この場合、設定内容は、作成している新規SMSに対してのみ有効であり、この設定は変更されません。

# メール設定の内容を確認します

「メール設定」で設定した内容を確認できます。

1  ▶ 「メール設定」▶ 「メール設定確認」の順に選ぶ

メール設定確認 1/2	
スクロール	1行
文字サイズ	標準
メール一覧表示	2行
本文表示	通常
セキュリティ	受送保
開封時ロディ再生	する
添付ファイル	お
メール選択受信	ON
受信表示	操作
iモーション自動再生	する

メール設定確認 2/2	
スピードファトメール表示	する
貼付メロディ	有効
貼付音モーション	有効
iアプリTo	有効
SMS report	する
SMS有効期間	0日


「メール設定」の次の項目の設定内容が表示されます。

- ・スクロール
- ・メール一覧表示
- ・セキュリティ
- ・添付ファイル
- ・受信表示
- ・スピードファトメール表示
- ・貼付iモーション
- ・SMS report
- ・文字サイズ
- ・本文表示
- ・開封時メロディ再生
- ・メール選択受信
- ・iモーション自動再生
- ・貼付メロディ
- ・iアプリTo
- ・SMS有効期間

# メール設定をお買い上げ時の状態に戻します

「メール設定」の設定内容をお買い上げのときの状態に戻します。  
リセットされる項目およびリセット後の状態は次のとおりです。

設定項目	設定リセット時
スクロール設定	1行スクロール
文字サイズ設定	標準表示
メール一覧表示設定	2行表示
本文表示設定	通常表示(先頭から表示する)
セキュリティ設定	受信BOX : OFF
	送信BOX : OFF
	保存BOX : OFF
開封時メロディ再生設定	自動再生する
添付ファイル設定	メロディ有効 : ON
	画像有効 : ON
メール選択受信設定	OFF
冒頭文 / 署名設定	冒頭文 : 未登録 自動貼付する
	署名 : 未登録 自動貼付する
	引用符 : >
受信表示設定	操作優先
iモーション自動再生設定	自動再生する
スピードフォトメール表示設定	自動表示する
貼付メロディ設定	有効
貼付iモーション設定	有効
iアプリTo設定	有効
SMS report設定	要求しない
SMS有効期間設定	3日

1  「メール設定」▶「メール設定リセット」の順に選んで、  
端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について P.21

設定をリセットするかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、設定がリセットされ、お買い上げのときの状態に戻ります。

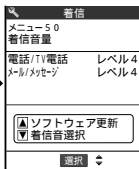
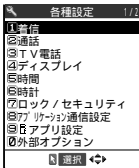
# メール通信設定機能一覧

メールに関する通信設定機能の画面および設定の一覧を示します。  
これらの設定は、メインメニューの各種設定で起こいます。

< 待受画面 >

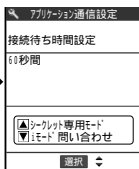


各種設定 を選んで ● [ 選択 ]



< ① 着信 >

- [ 選択 ] を押して次の項目を表示させ、● [ 選択 ] を押して設定画面に入ります。
  - ・メール / メッセージ鳴動.....メールやメッセージリクエスト / フリーの着信音が鳴る時間を設定します。 P.246
- これ以外の項目については『基本編』をご覧ください。



< ② アプリケーション通信設定 >



- [ 選択 ] を押して次の項目を表示させ、● [ 選択 ] を押して設定画面に入ります。
  - ・iモード問い合わせ設定.....iモードセンターへ問い合わせをする項目を設定します（通常は設定を変更する必要はありません）。 P.128
  - ・SMS center設定.....ドコモのSMSセンターを利用するか、他社のSMSセンターを利用するかを設定します（通常は設定を変更する必要はありません）。 P.247
- これ以外の項目についてはP.127をご覧ください。

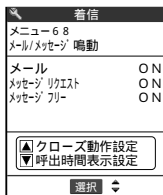
# メールやメッセージの着信音が鳴る時間を設定します

お買い上げ時 5秒

メールやメッセージリクエスト/フリーを受信したときに、着信音を鳴らすかどうか、鳴らす場合にはその時間を設定します。

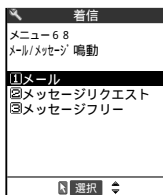
<例：メールの着信音を設定する場合>

1   「着信」▶「メール/メッセージ鳴動」の順に選ぶ



メール/メッセージ鳴動画面の現在の設定が表示されます。

2 設定する項目を選んで「ON」を選ぶ




着信音を鳴らさない場合

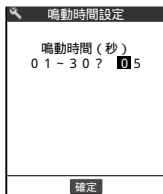
「OFF」を選ぶ




着信音を「OFF」に設定すると、メールやメッセージリクエスト/フリーを受信したときに着信音、バイブレータ、マルチファンクションボタンの点滅、バックライトなどによる着信のお知らせをしません。メールの着信音を「OFF」に設定した場合、画面に「S」または「S」が表示されます。メッセージリクエスト/フリーの着信音を「OFF」に設定した場合には、これらのアイコンは表示されません。

中止または設定を完了する場合

 を押す

3 鳴動時間(01~30秒)を入力する



時間は2桁で入力します。1~9秒に設定するときは  を押してから  ~  を押します。

01~30以外の数字を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。



## SMSセンターについて設定します

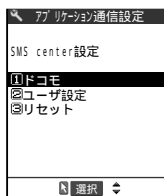
通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時 | ドコモ

ドコモのSMSセンターを利用するか、他社のSMSセンターを利用するかを設定します。

<例：他社のSMSセンターを利用する場合>

1   「アプリケーション通信設定」▶「SMS center設定」の順に選ぶ



ドコモ : ドコモのSMSセンターを利用します。

ユーザ設定 : 他社のSMSセンターを利用します。

お買い上げのときの設定(ドコモ)に戻す場合

「リセット」を選び、端末暗証番号(P.21)を入力して  [確定] を押す

確認のメッセージが表示されますので、「YES」を選ぶと設定がリセットされます。

「リセット」を行うと「ユーザ設定」で設定した内容が削除されます。

2 「ユーザ設定」を選んでSMSセンターのアドレスを入力し、 [確定] を押す

3 「Type of number」を選ぶ

「International」または「Unknown」から選びます。

## おしらせ


SMS center設定を誤って変更すると、SMSが送信できなくなります。

入力したSMSセンターアドレスに、「#」「\*」が含まれていた場合、「Type of number」の「International」を選ぶことはできません。

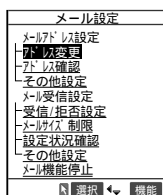
# オプション設定

iモードのメールに関するオプション設定を行います。  
オプション設定は次のようなものがあります。

機能名	内容	参照ページ
メールアドレス確認	メールアドレスを確認します。	P.236
メールアドレス変更	メールアドレスを変更します。	P.236
アドレスリセット	メールアドレスを電話番号に戻します。	P.238
シークレットコード登録	メールアドレスにシークレットコードを登録します。	P.239
メールサイズ制限	受信するメールデータのサイズを制限します。	P.240
メール受信拒否	メールの受信拒否を設定します。	P.241
メール機能停止	iモードセンターでメールの機能を停止します。	P.244

1  [mode] ▶ 「iMenu」▶ 「オプション設定」▶ 「メール設定」の順に選ぶ

2 設定したい機能を選んでそれぞれの操作を行う 上記表



# メールアドレスを設定します

## メールアドレスを確認します

現在設定されているメールアドレスを確認できます。

### 1 メール設定画面で「アドレス確認」を選ぶ



## メールアドレスを変更します

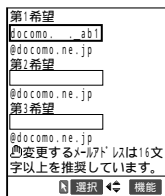
iモードメールのアドレスを変更できます。

「docomo.      ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、変更できるのは「@」より前の部分(下線部分)となります。変更するときは、「@」より前の部分のみを入力してください。なお、変更可能部分は、半角英数字および「\_」(アンダーバー)、「.」(ピリオド)、「-」(ハイフン)の記号を使って、3文字以上30文字まで(先頭は英字)の間で設定します。

変更時にはなるべく桁数を増やし、英字と数字の組み合わせにより、簡単に想定できないアドレスにされることをおすすめします。

### 1 メール設定画面で「アドレス変更」を選ぶ

### 2 「第1希望」を選び、第1希望のメールアドレスを入力して●[確定]を押す



「@」より前の部分のみを入力します。先頭文字は必ず英字で入力してください。

英字を入力する場合、大文字・小文字の区別はありません。

スペース(空白)はご利用になれません。



### 3 同様の操作で第2希望、第3希望のメールアドレスを入力する

第2希望、第3希望が不要の場合は、操作4へ進みます。

### 4 を選び、4桁のiモードパスワードを入力して [確定] を押す

入力したiモードパスワードは「\*」で表示されます。

iモードパスワードについて P.30

### 5 「決定」を選ぶ

変更したメールアドレスが表示されます。新しいアドレスはすぐに使うことができます。

#### おしらせ

「(ピリオド)」をアドレス内で連続使用したり、アドレスの最後に設定したりすると、一部のプロバイダとメールを送受信できない場合があります。

変更が完了すると、すぐに新しいメールアドレスがご利用になれ、変更前のメールアドレスではメールが受信できなくなり、送信元には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。

メールアドレス変更前にiモードセンターに保管されたメールは、メールアドレス変更後も受信できます。

メールアドレスを変更すると、変更前に利用していたメールアドレスを再び使えなくなる可能性があります。

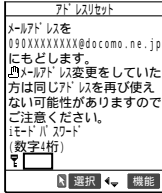
メールアドレスを「電話番号@docomo.ne.jp」に変更するときは「アドレスリセット (P.238)」を行ってください。

メールアドレスを変更する際に簡単なアドレス(名前など)にすると間違いメールが届くことがあります。なるべく桁数を増やし、数字や英字、記号を組み合わせたメールアドレスに変更されることをおすすめします。

movaサービスでiモードをご利用いただいていた場合、メールアドレスはそのままご利用になれます。

メールアドレスを「電話番号@docomo.ne.jp」に変更できます。

- 1 メール設定画面でメールアドレス設定の「その他設定」を選んで「アドレスリセット」を選ぶ



- 2 を選び、4桁のiモードパスワードを入力して●[確定]を押す  
入力したiモードパスワードは「\*」で表示されます。

iモードパスワードについて P.30

- 3 「確認」を選ぶ

確認画面が表示され、アドレスリセットが完了します。

#### おしらせ

アドレスリセットを行うと、リセットする前のメールアドレスではメールを受信できなくなります（メールの送信元には、宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます）。

アドレスリセット前にiモードセンターに保管されたメールは、アドレスリセット後も受信できます。アドレスリセットを行うと、リセットする前のメールアドレスは再び使えなくなる可能性があります。

## メールアドレスにシークレットコードを登録します

電話番号のアドレスにシークレットコードを登録し、シークレットコードを知らない人からのメールを受け取らないようにします。

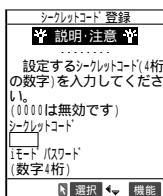
メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときに、シークレットコードを登録すると、シークレットコード(数字4桁)がついていないメールを受信しません。

シークレットコードをつけないで送信されたメールは、送信元には宛先不明のエラーとして返信し、不要なメールの受信を避けられます。

シークレットコード登録後のメール送信時にはシークレットコード部分は隠されて送信され、送信先にはシークレットコードが表示されません。

シークレットコード登録を利用するには「アドレスリセット」(P.238)でメールアドレスを「電話番号@docomo.ne.jp」に変更する必要があります。

- 1 メール設定画面でメールアドレス設定の「その他設定」を選んで「シークレットコード登録」を選ぶ



- 2 「シークレットコード」の下の□を選び、4桁の数字でシークレットコードを入力して●[確定]を押す

「0000」は設定できません。

- 3 □を選び、4桁のiモードパスワードを入力して●[確定]を押す

入力したiモードパスワードは「\*」で表示されます。

iモードパスワードについて P.30

- 4 「決定」を選ぶ

新しいメールアドレスが表示されます。電話番号以下の4桁の数字がお客様の設定されたシークレットコードとなります。

登録が完了すると、すぐにシークレットコードが利用でき、今までのメールアドレスではiモードメールが届かなくなり、送信元には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。

シークレットコード登録前にiモードセンターに保管されたメールは、シークレットコード登録後も受信できます。

iモードメールの送信時にはシークレットコード部分は隠されますので、受信者はそのまま返信メールを差出人に送ることができません。

シークレットコード登録を行っていてもSMSは受信できます。

シークレットコード登録を取り消す場合は、「アドレスリセット」を行ってください。

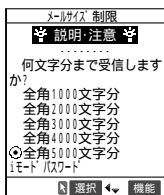
シークレットコード登録を行うと、ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合に、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。

## 受信するメールのサイズを制限します

ご契約時 全角5,000文字

iモードメールを受信する際、受信するメールのデータサイズを制限できます。

### 1 メール設定画面で「メールサイズ制限」を選ぶ



### 2 受信を制限するメールのサイズをラジオボタンで選ぶ

### 3 を選び、4桁のiモードパスワードを入力して [ 確定 ] を押す

入力したiモードパスワードは「\*」で表示されます。

iモードパスワードについて P.30

### 4 「決定」を選ぶ

確認画面が表示され、メールサイズ制限が設定されます。

設定された文字数を越えたときは、iモードセンターで本文の最後に「 / 」または「 // 」が挿入され、越えた部分が削除されます(削除された部分を見ることはできません)。  
設定された文字数を越えた場合、iモードメール本文に貼り付けられているメロディのデータや、アプリの起動データ(iアプリTo)、iモーションの取得データは、iモードセンターで削除されます。

## メールの受信拒否を設定します

迷惑メールや、受け取りたくない相手からのメールなどを受信しないように制限できます。

次のいずれかの方法でメールの受信 / 拒否設定を行います。

メール拒否方法	設定の内容
iモードメールのみ受信	iモード携帯電話からのメールのみを受信します。 (インターネット経由のメールを拒否)
iモードメールのみ拒否	iモード携帯電話からのメールのみ受信しません。(iモード間のメールを拒否)
アドレス指定拒否	指定したメールアドレスからのメールのみ受信しません。
アドレス指定受信	指定したメールアドレスからのメールのみを受信します。
ドメイン指定受信	au、ボーダフォン、TU-KA、DDIポケットのうち、指定する会社からのメールを受信します。また、上記の会社以外のドメインを指定してメールを受信することもできます。

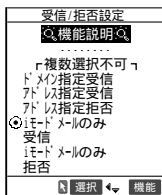
アドレス指定拒否、アドレス指定受信、ドメイン指定受信のメールアドレスは20件まで登録できます。

詳しくは『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

### iモードメールの受信 / 拒否を設定します

#### 1 メール設定画面で「受信 / 拒否設定」を選ぶ

#### 2 設定する項目をラジオボタンで選んで「次へ」を選ぶ



iモードメールのみ受信：iモード携帯電話からのメールのみを受信します。

iモードメールのみ拒否：iモード携帯電話からのメールのみを受信しません。

設定を解除する場合は「設定解除」を選びます。

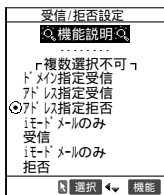
- 3 を選び、4桁のiモードパスワードを入力して●[確定]を押す  
入力したiモードパスワードは「\*」で表示されます。  
iモードパスワードについて P.30

- 4 「決定」を選ぶ  
確認画面が表示され、メール一括拒否が設定されます。

## アドレス指定拒否を設定します

- 1 メール設定画面で「受信 / 拒否設定」を選ぶ

- 2 設定する項目をラジオボタンで選んで「次へ」を選ぶ



アドレス指定拒否：指定したメールアドレスからのメールは受信しません。

アドレス指定受信：指定したメールアドレスからのメールのみを受信します。

ドメイン指定受信：選択した他携帯電話、PHSからのメールと、指定したドメインからのメールを受信します。

- 3 メールアドレス欄のを選び、指定するメールアドレスを入力して●[確定]を押し、「登録」を選ぶ

指定拒否または指定受信を設定する相手がiモード端末の場合は、指定するメールアドレスには「@docomo.ne.jp」を入力する必要はありません。

ドメイン指定受信を設定する場合

メールを受信したい他携帯電話、PHSの会社名を選ぶ

指定したドメインで終わるメールアドレスのメールのみ受信します。

その他に指定したいドメインがある場合は、ドメインを入力して指定することもできます。

- 4 を選び、4桁のiモードパスワードを入力して●[確定]を押す  
入力したiモードパスワードは「\*」で表示されます。  
iモードパスワードについて P.30

- 5 「決定」を選ぶ  
確認画面が表示され、アドレス指定拒否が設定されます。

設定が完了すると、拒否を設定したメールが届かなくなり、送信元には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返送されます。

設定によっては、メール送信に失敗した場合、エラーメールを受信しない場合があります。

設定前にiモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。

「アドレス指定受信」「iモードメールのみ受信する(インターネット経由のみ拒否)」を設定した場合は、希望しているメール配信が届かなくなることがあります。

SMSの受信拒否は設定できません。

指定メールアドレス・ドメインの欄にドメインを入力する場合は、メールアドレスの「@」より後ろの部分を入力します。ただし、iモードや操作3で選択した他携帯電話、PHSの会社からのメールは、ドメインを入力しなくてもすべてのメールを受信しますので、ドメインの入力は不要です。ドメインを入力すると、携帯電話、PHSから送信したように見える「迷惑メール」が届いてしまいますので、ご注意ください。

日本語のメールアドレスやドメインは指定できません。

ドメイン指定受信は、iモードメールのみ受信/拒否と同時に利用することはできません。

メールによる情報配信サービスなどへメールアドレスを登録し利用している場合は、メール指定受信、ドメイン指定受信の設定にともないメールが届かなくなりますので、メールアドレスやドメインの設定を行ってください。

iモードサイトの利用に際し、利用内容確認などをメールで行う場合がありますので、これらのメールを受信するために、各サイトのドメインやメールアドレスなどを指定してご利用ください。

### iモードメール大量送信者からのメール受信制限

1日に1台のiモード端末から送信される200通目以降のiモードメールを拒否することができます。

初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。詳しくは、『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

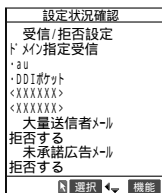
#### 未承諾広告 メールを拒否

受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信されるメールを拒否することができます。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告 メールを拒否したい場合は設定する必要はありません(送信者はメール件名欄の最前列に未承諾広告(全角6文字)と記載することが法律で義務づけられています)。詳しくは、『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

## メールの受信拒否設定を確認します

現在設定されているメール拒否設定を確認できます。

### 1 メール設定画面で「設定状況確認」を選ぶ

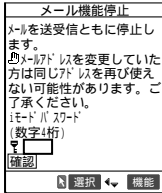


拒否設定確認画面を表示され、設定内容を確認できます。

# メール機能を停止します

iモードではメール機能を利用しないときは、iモードセンターでメール機能を停止できます。メール機能を停止した場合、FOMA端末でのiモードメールは送受信できず、メールの送信元には宛先不明のエラーメッセージが表示されるか、エラーメールが返信されます。

## 1 メール設定画面で「メール機能停止」を選ぶ



## 2 を選び、4桁のiモードパスワードを入力して [ 確定 ] を押す

入力したiモードパスワードは「\*」で表示されます。  
iモードパスワードについて P.30

## 3 「確認」を選ぶ

確認画面が表示され、メール機能を停止します。

### おしらせ

メール機能停止前にiモードセンターで保管されたメールはそのまま保管されますので(受信時から30日間(720時間))iモード問い合わせ(P.180)を行って受信してください。

メール機能停止中はiモードセンターで新しいメールを保管しません。

メール機能停止中にiモードメールの送信を行った場合、送信に失敗したことを通知するエラーメッセージが表示され、送信することができません。

メール機能停止中にiモードメールの送信やiモードセンターへの問い合わせをしようとしたときは、iモードセンターとの通信を行うため、パケット通信料がかかります。

メール機能再開直後のメールアドレスは「電話番号@docomo.ne.jp」となります。

メールアドレスを「電話番号@docomo.ne.jp」以外でご利用になっていた場合、メール機能を停止すると、停止前に利用されていたメールアドレスは、メール機能再開時に再び使えない可能性があります。

メール機能再開直後は、メールの受信拒否の設定はメール機能停止前のままとなります。

メール機能停止中でも、SMSの送受信は可能です。